

Changes in maternal consciousness after childbirth and related paternal and family support

宮中, 文子

<https://doi.org/10.15017/458567>

出版情報 : 九州芸術工科大学, 2003, 博士 (芸術工学), 論文博士
バージョン :
権利関係 :

第3章 結果

第1節 年齢群別および初・経産別にみた母親意識

第1項 母親意識に関する15項目の質問の回答の割合

母親意識に関する15項目の質問についての4つの選択肢からの回答の割合をそれぞれ年齢群別および初・経産別にみた。母親意識に関する肯定的な7項目は表Ⅱ-3と図Ⅱ-1に、否定的な8項目は表Ⅱ-4と図Ⅱ-2に示した。

母親意識に関する肯定的な7項目の回答の割合が年齢群別に違いがあるかをみると、経産婦において「子育てしている今は幸せ」($p < 0.05$)で年齢群別に有意な差が認められ、「とてもそう」と答えた経産婦の割合は、年齢が高い群ほど多くなる傾向にあった(20～24歳群45.0%、25～29歳群68.4%、30～34歳群73.3%、35歳以上群90.0%)。その他については年齢群別および初・経産別に有意な差は認められなかった。

一方、母親意識に関する否定的な8項目の回答の割合について年齢群別に違いがあるかをみると、初産婦では、「子どもを叱るあまり手をあげることがある」($p < 0.05$)で年齢群別に有意な差が認められた。その質問項目に「とてもそう」および「ややそう」と答えた初産婦の24～25歳群(75.0%)では、他の年齢群(25～29歳群19.3%、30～34歳群32.6%、35歳以上群25.0%)よりも有意に多い傾向にあった。また、経産婦では「子育てが負担である」($p < 0.05$)で年齢群別に有意な差が認められ、その質問項目に「とてもそう」および「ややそう」と答えた経産婦の割合は、20～24歳群の経産婦(40.0%)では、他の年齢群(25～29歳群26.3%、30～34歳群32.6%、35歳以上群25.0%)よりもやや多い傾向にあった。その他については、初・経産婦とも年齢群別で有意な差は認められなかった。

次に、初・経産別に違いがあるかをみると、否定的な質問では、「子育てでイライラすることがある」($p < 0.01$)で有意な差がみとめられ、その質問に「とてもそう」と回答した者の割合は、初産婦28.4%に比較して、経産婦44.3%と高く、また、「子どもを叱るあまり手をあげることがある」($p < 0.001$)では、初産婦14.8%に比較して、経産婦29.0%と高くいずれも有意な差が認められた。

しかし、その他の母親意識に関する質問項目には、いずれも初・経産婦で有意な差は認められなかった。

母親意識に関する全体的な傾向をみると、肯定的質問の6項目では殆どの母親が「とてもそう」および「ややそう」と答えていたが、「子どもにとってよい母親と思う」では初産婦71%、経産婦68%に留まった。一方、否定的な項目で「とてもそう」および「ややそう」と回答していたのは、「子育てから解放されたい」、「子育てでイライラする」、「子育ては疲れる」では全体で80%前後と高い率を示していた。「子どもを叱るあまり手をあげる」は、初産婦が31.2%、経産婦が58.5%で、「子育てが不安でしかたがない」は、初産婦が23.5%、経産婦が16.1%であった。「子育てに悩みや心配がある」では、初・経産婦とも40%前後、「人並みに子育てできない」と「子育てが負担である」が30%前後にあった。

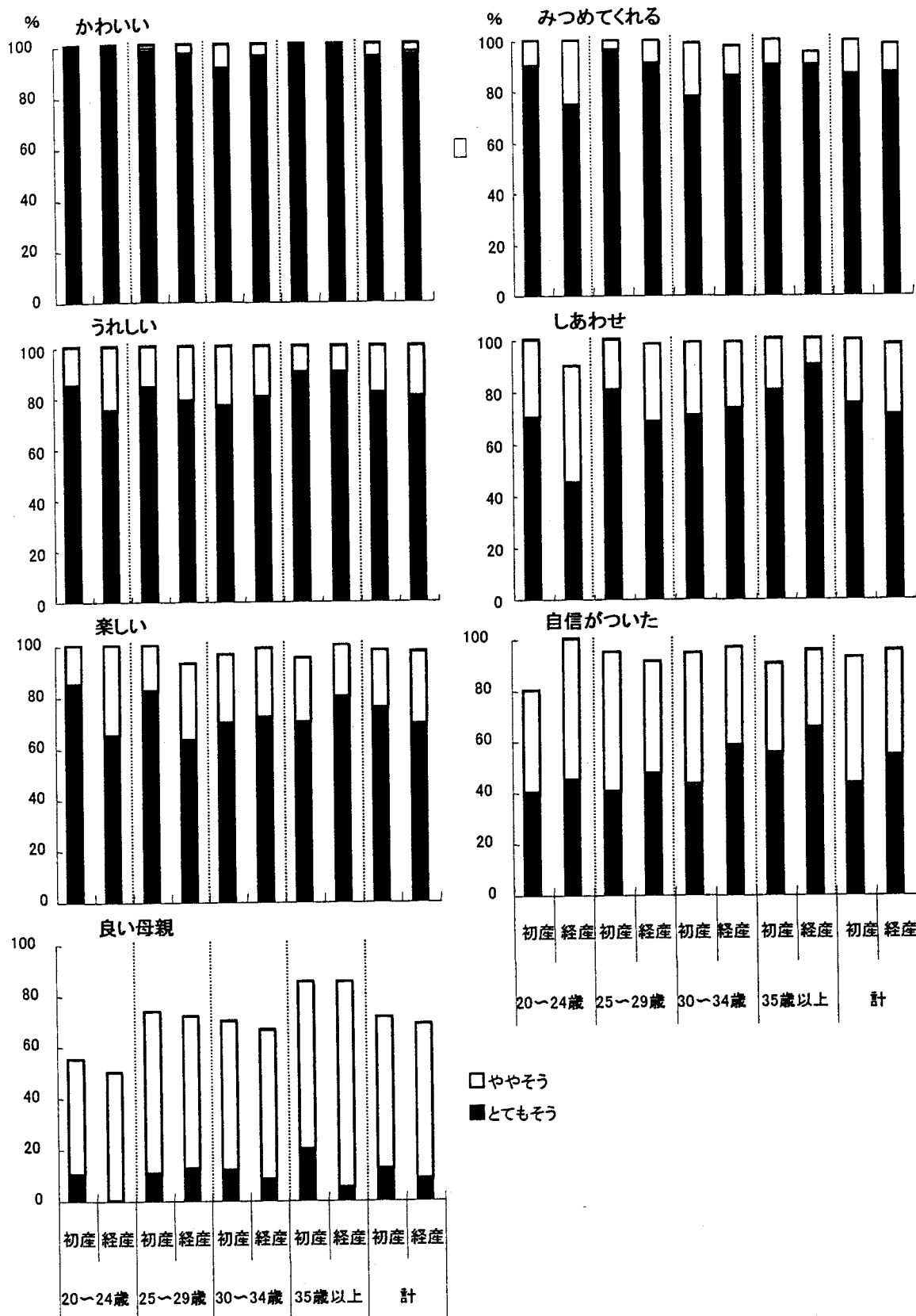
第2項 母親意識の合計得点の平均と標準偏差

15項目の母親意識に関する合計得点の平均と標準偏差を年齢群別および初・経産別に示したのが、表Ⅱ-5と図Ⅱ-3である。2元配置の分散分析の結果、初・経産のみに有意な効果が認められた($F=4.28$, $p<0.05$)。有意差検定の結果、母親意識の合計得点は、25～29歳群($p<0.01$)、20～24歳群および30～35歳群($p<0.05$)において、いずれも初産婦が経産婦より高い傾向であり、有意な差が認められた。ただし、35歳以上群では初・経産婦間では有意な差は認められていない。

表Ⅱ-3 母親意識(肯定的質問項目)への回答(%)

	初産婦				経産婦				初・経産婦間の差 χ^2 検定
	とてもそう	ややそう	ややいいえ	いいえ	とてもそう	ややそう	ややいいえ	いいえ	
子どもはかわいい									
20-24歳	100	0	0	0	100	0	0	0	
25-29歳	98.2	1.8	0	0	96.5	3.5	0	0	
30-34歳	90.7	9.3	0	0	95.3	4.7	0	0	
35歳以上	100	0	0	0	100	0	0	0	N.S.
全年齢	95.1	4.9	0	0	96.7	3.3	0	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子どもは私をじっとみてる									
20-24歳	90.0	10.0	0	0	75.0	25.0	0	0	
25-29歳	96.5	3.5	0	0	91.2	8.8	0	0	
30-34歳	77.9	20.9	1.2	0	86.0	11.6	2.3	0	
35歳以上	90.0	10.0	0	0	90.0	5.0	0	5.0	N.S.
全年齢	86.3	13.1	0.6	0	86.9	11.5	1.1	0.5	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子どもと一緒にいるのは嬉しい									
20-24歳	85.0	15.0	0	0	75.0	25.0	0	0	
25-29歳	84.2	15.8	0	0	78.9	21.1	0	0	
30-34歳	76.7	23.3	0	0	80.2	19.8	0	0	
35歳以上	90.0	10.0	0	0	90.0	10.0	0	0	N.S.
全年齢	81.4	18.6	0	0	80.3	19.7	0	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てしている今は幸せ									
20-24歳	70.0	30.0	0	0	45.0	45.0	10.0	0	
25-29歳	80.7	19.3	0	0	68.4	29.8	1.8	0	
30-34歳	70.9	27.9	1.2	0	73.3	25.6	1.2	0	
35歳以上	80.0	20.0	0	0	90.0	10.0	0	0	N.S.
全年齢	74.9	24.6	0.5	0	70.5	27.3	2.2	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				$\chi^2=14.25, p<0.05$				
子どもと遊ぶのは楽しい									
20-24歳	85.0	15.0	0	0	65.0	35.0	0	0	
25-29歳	82.5	17.5	0	0	63.2	29.8	7.0	0	
30-34歳	69.8	26.7	3.5	0	72.1	26.7	1.2	0	
35歳以上	70.0	25.0	5.0	0	80.0	20.0	0	0	N.S.
全年齢	75.4	22.4	2.2	0	69.4	27.9	2.7	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てを自分でやれる自信がついた									
20-24歳	40.0	40.0	20.0	0	45.0	55.0	0	0	
25-29歳	40.4	54.4	5.3	0	47.4	43.9	8.8	0	
30-34歳	43.0	51.2	4.7	1.2	58.1	38.4	2.3	1.2	
35歳以上	55.0	35.0	10.0	0	65.0	30.0	5.0	0	N.S.
全年齢	43.2	49.2	7.1	0.5	54.1	41.0	4.4	0.5	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子どもにとってよい母親だと思う									
20-24歳	10.0	45.0	35.0	10.0	0	50.0	40.0	10.0	
25-29歳	10.5	63.2	24.6	1.8	12.3	59.6	24.6	3.5	
30-34歳	11.6	58.1	24.4	5.8	8.1	58.1	31.4	2.3	
35歳以上	20.0	65.0	15.0	0	5.0	80.0	15.0	0	N.S.
全年齢	12.0	59.0	24.6	4.4	8.2	60.1	28.4	3.3	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				

第II部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—

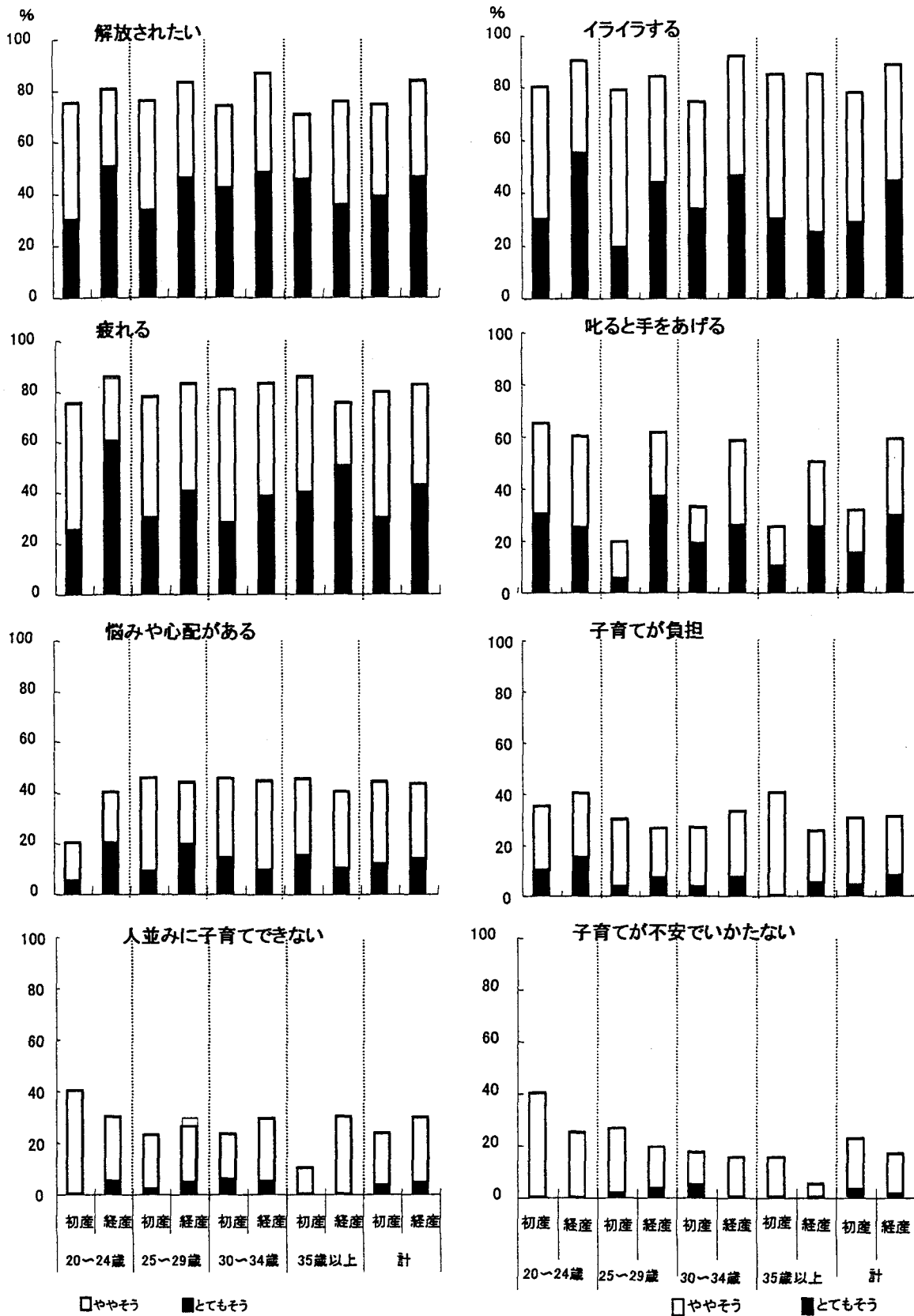


図II-1 母親意識（肯定的質問項目）への回答「ややそう」「とてもそう」の割合

表Ⅱ-4 母親意識(否定的質問項目)への回答(%)

	初産婦				経産婦				初・経産婦間の差 χ^2 検定
	とても そう	やや そう	やや いいえ	いい え	とても そう	やや そう	やや いいえ	いい え	
子育てから解放されたいと思う									
20～24歳	30.0	45.0	20.0	5.0	50.0	30.0	15.0	5.0	
25～29歳	33.3	42.1	17.5	7.0	45.6	36.8	7.0	10.5	
30～34歳	41.9	31.4	12.8	14.0	47.7	38.4	9.3	4.7	
35歳以上	45.0	25.0	10.0	20.0	35.0	40.0	15.0	10.0	N.S.
全年齢	38.3	35.5	14.8	11.5	45.9	37.2	9.8	7.1	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てでイライラすることがある									
20～24歳	30.0	50.0	15.0	5.0	55.0	35.0	0	10.0	
25～29歳	19.3	59.6	14.0	7.0	43.9	40.4	12.3	3.5	
30～34歳	33.7	40.7	14.0	11.6	46.5	45.4	7.0	1.2	$\chi^2=13.42$
35歳以上	30.0	55.0	10.0	5.0	25.0	60.0	5.0	10.0	$p<0.01$
全年齢	28.4	49.2	13.7	8.7	44.3	44.3	7.7	3.8	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てでは疲れる									
20～24歳	25.0	50.0	20.0	5.0	60.0	25.0	10.0	5.0	
25～29歳	29.8	47.4	17.5	5.3	40.4	42.1	15.8	1.8	
30～34歳	27.9	52.3	10.5	9.3	38.4	44.2	12.8	4.7	N.S.
35歳以上	40.0	45.0	0	15.0	50.0	25.0	20.0	5.0	
全年齢	29.5	49.7	12.6	8.2	42.6	39.3	14.2	3.8	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子どもを叱るあまり手をあげることがある									
20～24歳	30.0	35.0	15.0	20.0	25.0	35.0	0	40.0	
25～29歳	5.3	14.0	17.5	63.2	36.8	24.6	14.0	24.6	
30～34歳	18.6	14.0	15.1	52.3	25.6	32.6	20.9	20.9	
35歳以上	10.0	15.0	25.0	50.0	25.0	25.0	20.0	30.0	$\chi^2=32.35$
全年齢	14.8	16.4	16.9	51.9	29.0	29.5	16.4	25.1	$p<0.001$
年齢群間の差 χ^2 検定	$\chi^2=18.88, p<0.05$				N.S.				
子育てで悩みや心配がある									
20～24歳	5.0	25.0	30.0	40.0	20.0	20.0	25.0	35.0	
25～29歳	8.8	36.8	15.8	38.6	19.3	24.6	28.1	28.1	
30～34歳	14.0	31.4	19.8	34.9	9.3	34.9	22.1	33.7	
35歳以上	15.0	30.0	25.0	30.0	10.0	30.0	30.0	30.0	N.S.
全年齢	11.5	32.2	20.2	36.1	13.7	29.5	25.1	31.7	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てが負担である									
20～24歳	10.0	25.0	15.0	50.0	15.0	25.0	25.0	35.0	
25～29歳	3.5	26.3	31.6	38.6	7.0	19.3	26.3	47.4	
30～34歳	3.5	23.3	24.4	48.8	7.0	25.6	41.9	25.6	
35歳以上	0	40.0	10.0	50.0	5.0	20.0	10.0	65.0	N.S.
全年齢	3.8	26.2	24.0	45.9	7.7	23.0	31.7	37.7	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				$\chi^2=17.71, p<0.05$				
人並みに子育てできないと感じる									
20～24歳	0	40.0	25.0	35.0	5.0	25.0	20.0	50.0	
25～29歳	1.8	21.1	33.3	43.9	5.3	24.6	33.3	36.8	
30～34歳	5.8	17.4	32.6	44.2	4.7	24.4	33.7	37.2	
35歳以上	0	10.0	40.0	50.0	0	30.0	30.0	40.0	N.S.
全年齢	3.3	20.2	32.8	43.7	4.4	25.1	31.7	38.8	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てが不安でしかたがない									
20～24歳	0	40.0	20.0	40.0	0	25.0	45.0	30.0	
25～29歳	1.8	24.6	28.1	45.6	3.5	15.8	31.6	49.1	
30～34歳	4.7	12.8	24.4	58.1	0	15.1	32.6	52.3	
35歳以上	0	15.0	20.0	65.0	0	5.0	25.0	70.0	N.S.
全年齢	2.7	19.7	24.6	53.0	1.1	15.3	32.8	50.8	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—



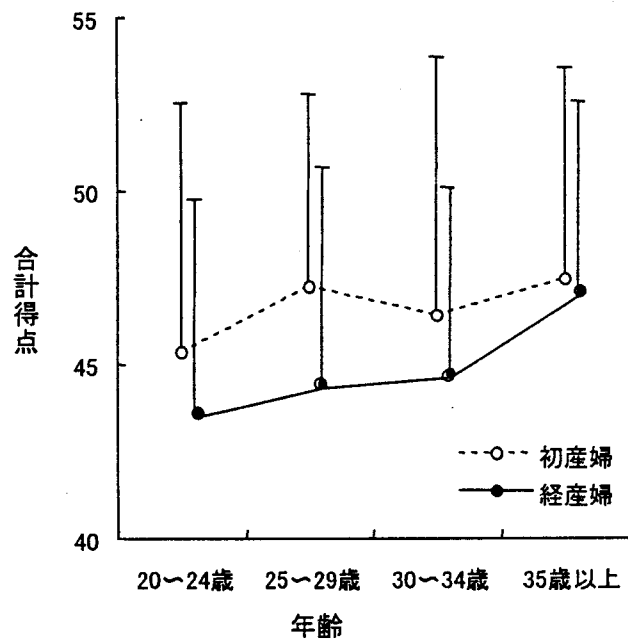
図Ⅱ-2 母親意識（否定的質問項目）への回答「ややそう」「とてもそう」の割合

表II-5 母親意識の合計得点の初・経産婦群別年齢群別比較と二元配置分散分析の結果

	初産婦	経産婦
20～24歳	45.4 (7.2)	43.6 (6.1)
25～29歳	47.2 (5.5)	44.4 (6.2)
30～34歳	46.4 (7.4)	44.7 (5.3)
35歳以上	47.5 (6.1)	47.1 (5.4)
全年齢	46.7 (6.7)	44.8 (5.7)

ANOVA			
年齢		N.S.	
初・経産		F=4.28F, df=1,358	p<0.05
交互作用		N.S.	

平均(標準偏差)



図II-3 母親意識の合計得点 (平均と標準偏差)

第2節 年齢群別および初・経産別にみた抑鬱傾向

第1項 抑鬱傾向に関する4項目の質問の回答の割合

抑鬱傾向の各項目における4選択肢の回答の割合を、年齢群別および初・経産別に示したのが表Ⅱ-6と図Ⅱ-4である。「わけもなく泣いたり泣きたくなったりする」、「気が沈み憂鬱な気持ちになる」、「気分がすっきりせず、何事も決断できない感じがする」および「何となく不安な気持ちになる」の質問項目では、いずれも経産婦のみ年齢群別に有意な差が認められた。初産婦と経産婦を含めた全ての対象者群にあっても「気が沈み憂鬱な気持ちになる」($p<0.05$)、「気分がすっきりせず、何事も決断できない感じがする」($p<0.05$)、「何となく不安な気持ちになる」($p<0.01$)で、年齢群別に有意な差が認められた。全ての項目で、年齢が若い群ほど抑鬱傾向が高い傾向にあった。また、4つの質問項目とも「とてもそう」と回答した者は、35歳以上の年齢群でほとんどみられないのに対して、20～24歳の年齢群で15～25%に達していた。

また、「気が沈み憂鬱な気持ちになる」の質問項目のみについては、初・経産で有意な差が認められ、その質問に「とてもそう」、「ややそう」と答えたものは、経産婦(24.1%)の方が初産婦(21.3%)よりも多かった。

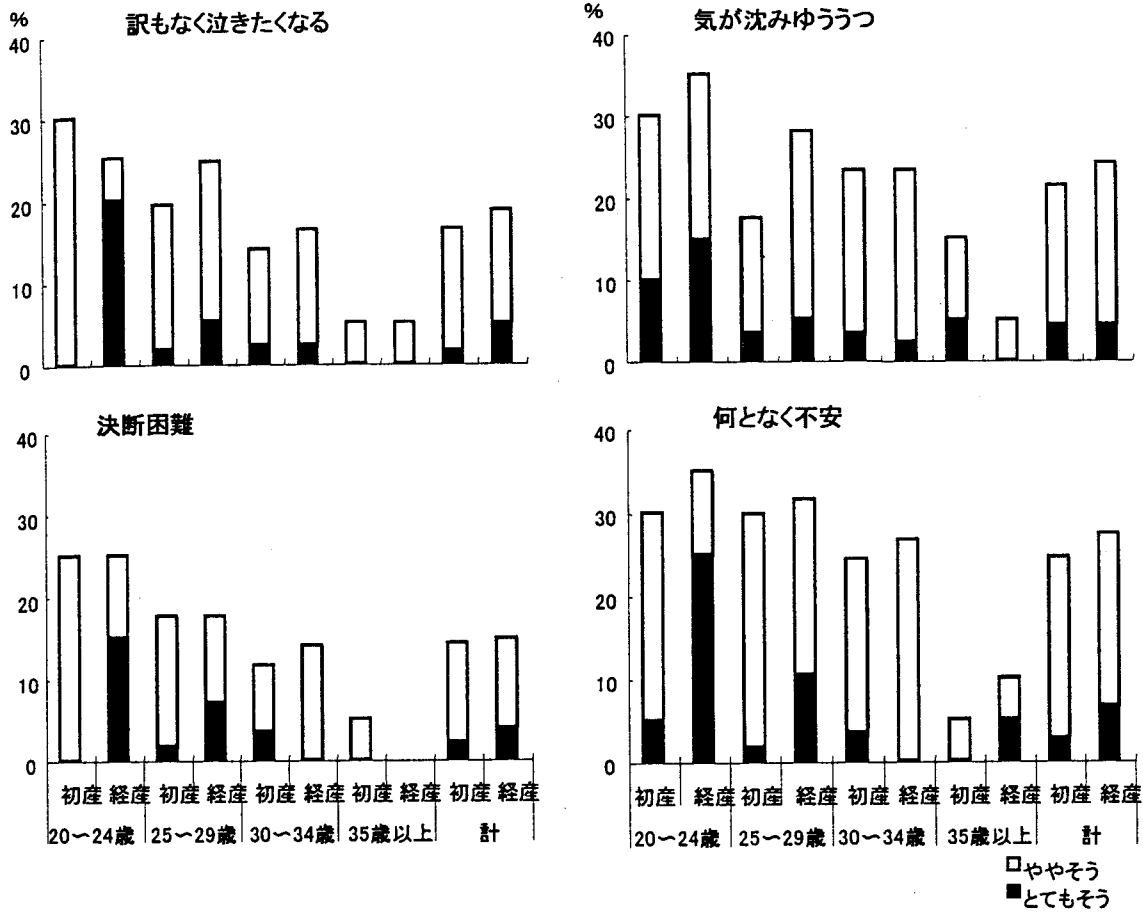
第2項 抑鬱傾向の合計得点の平均と標準偏差

表Ⅱ-7と図Ⅱ-5には、非抑鬱傾向に関する4項目の合計得点の平均と標準偏差を年齢群別および初・経産別に示した。非抑鬱得点は、得点が低いほど抑鬱傾向が高く、この得点が高いほど逆に抑鬱傾向が低いことになる。分散分析の結果、年齢群別にのみ有意な効果が認められた($F=4.28$, $p<0.01$)。すなわち、年齢が高いほど非抑鬱得点が高い傾向にあり、初産婦、経産婦とも、20～24歳群では、35歳以上群に比較して低く($p<0.01$)、また、初・経産婦全体でも20～24歳群では、他の年齢群に比較して低く($p<0.01$)、いずれも有意な差が認められた。

表II-6 抑鬱傾向の各項目への回答(%)

	初産婦				経産婦				初・経産婦間の差 χ^2 検定
	と て も そ う	や や そ う	や や い え	い い え	と て も そ う	や や そ う	や や い え	い い え	
わけもなく泣いたり泣きたくなったりする									
20-24歳	0	30.0	10.0	60.0	20.0	5.0	20.0	55.0	N.S.
25-29歳	1.8	17.5	15.8	64.9	5.3	19.3	10.5	64.9	
30-34歳	2.3	11.6	15.1	70.9	2.3	14.0	19.8	64.0	
35歳以上	0	5.0	10.0	85.0	0	5.0	10.0	85.0	
全年齢	1.6	14.8	14.2	69.4	4.9	13.7	15.8	65.6	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				$\chi^2=19.00, p<0.05$				
気が沈み憂鬱な気持ちになる									
20-24歳	10.0	20.0	5.0	65.0	15.0	20.0	25.0	40.0	$\chi^2=8.89$ $p<0.05$
25-29歳	3.5	14.0	19.3	63.2	5.3	22.8	21.1	50.9	
30-34歳	3.5	19.8	15.1	61.6	2.3	20.9	31.4	45.4	
35歳以上	5.0	10.0	5.0	80.0	0	5.0	10.0	85.0	
全年齢	4.4	16.9	14.2	64.5	4.4	19.7	25.1	50.8	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				$\chi^2=18.62, p<0.05$				
気分がすっきりせず、何事も決断できない感じがする									
20-24歳	0	25.0	10.0	65.0	15.0	10.0	15.0	60.0	N.S.
25-29歳	1.8	15.8	8.8	73.7	7.0	10.5	17.5	64.9	
30-34歳	3.5	8.1	24.4	64.0	0	13.9	27.9	58.1	
35歳以上	0	5.0	10.0	85.0	0	0	20.0	80.0	
全年齢	2.2	12.0	16.4	69.4	3.8	10.9	22.4	62.8	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				$\chi^2=18.64, p<0.05$				
何となく不安な気持ちになる									
20-24歳	5.0	25.0	15.0	55.0	25.0	10.0	30.0	35.0	N.S.
25-29歳	1.8	28.1	17.5	52.6	10.5	21.1	24.6	43.9	
30-34歳	3.5	20.9	25.6	50.0	0	26.7	24.4	48.8	
35歳以上	0	5.0	25.0	70.0	5.0	5.0	15.0	75.0	
全年齢	2.7	21.9	21.9	53.6	6.6	20.8	24.0	48.6	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				$\chi^2=27.33, p<0.001$				

第II部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—

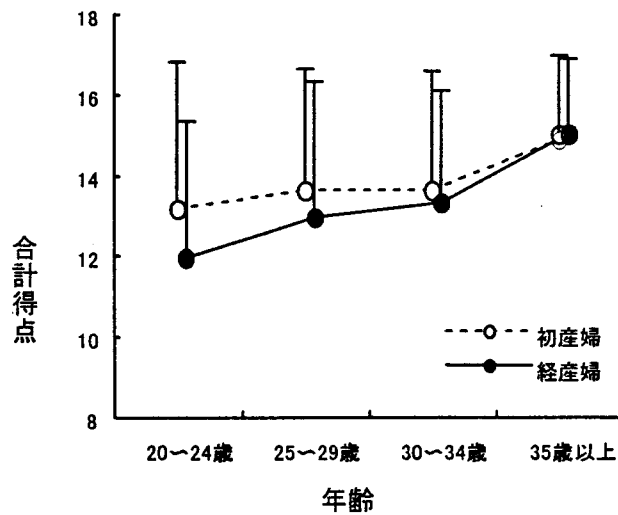


図II-4 抑鬱傾向に関する項目への回答「ややそう」「とてもそう」の割合

表Ⅱ-7 非抑鬱の合計得点の初・経産婦群別年齢群別比較と二元配置分散分析の結果

	初産婦	経産婦
非抑鬱合計得点		
20～24歳	13.2 (3.6)	12.0 (4.4)
25～29歳	13.6 (3.0)	13.0 (3.4)
30～34歳	13.6 (2.9)	13.3 (2.8)
35歳以上	14.9 (2.1)	15.0 (1.9)
全年齢	13.7 (3.0)	23.2 (3.2)
ANOVA		
年齢	F=4.28, df=1,358 p<0.01	
初・経産	N.S.	
交互作用	N.S.	

平均(標準偏差)



図Ⅱ-5 非抑鬱の合計得点 (平均と標準偏差)

第3節 年齢群別および初・経産別にみた自己価値観

第1項 自己価値観に関する10項目の質問の回答の割合

自己価値観の各項目における4選択肢の回答の割合を、年齢群別および初経産別にみたものを、肯定的な5項目を表Ⅱ-8で、否定的な5項目を表Ⅱ-9で、また図Ⅱ-6に示した。

年齢群別に有意な差が認められたのは、初産婦では、肯定的質問項目の「私はたいていの人がやれる程度には物事ができる」($p<0.05$)であり、その質問に「そう」および「ややそう」と回答した割合をみると、35歳以上群がその他の年齢群に比較して多い傾向であった。一方、否定的質問項目の「もう少し自分を尊敬できたならばと思う」($p<0.05$)と「いつでも自分を失敗者だと思ふことが多い」($p<0.05$)では、35歳以上群がその他の年齢群に比較して少ない傾向であり、いずれも年齢群別に有意な差が認められた。また、経産婦では「私は自分にはいくつも見どころがあると思っている」($p<0.05$)についてのみ年齢群別に有意差が認められ、その質問に「そう」および「ややそう」と回答した割合をみると、20～24歳群がその他の年齢群に比較して少ない傾向であり、有意な差が認められた。

なお、初・経産婦間では、自己価値観に関する10項目すべてにおいて有意な差が認められなかった。

第2項 自己価値観の合計得点の平均と標準偏差

自己価値観に関する10項目の合計得点の平均と標準偏差を、年齢群別および初・経産別に示したのが表Ⅱ-10と図Ⅱ-7である。分散分析の結果、この合計得点には、年齢群別に有意な効果が認められたが($F=2.82, p<0.05$)、初・経産と両者の交互作用には有意な効果が認められなかった。この平均得点は、初・経産婦とも年齢が高い群で高値を示す傾向にあった。有意差検定の結果、初産婦、経産婦とも35歳以上群では他の年齢群に比較して高く($p<0.01$)、有意な差が認められた。

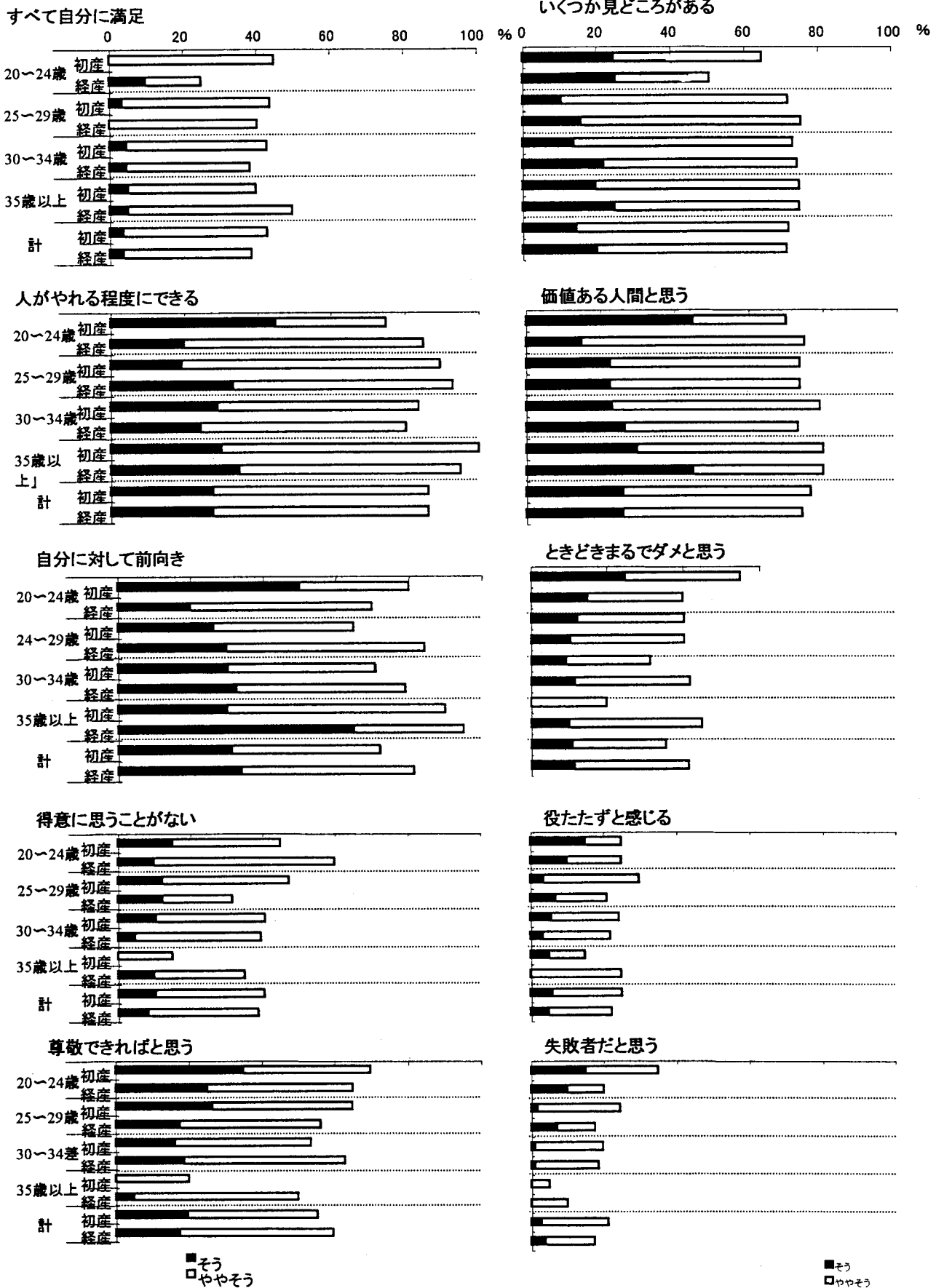
表Ⅱ-8 自己価値観(肯定的質問項目)への回答(%)

	初産婦				経産婦				初・経産婦 間の差 χ^2 検定
	そ う	や や そ う	や や ち が う	ち が う	そ う	や や そ う	や や ち が う	ち が う	
私はすべての点で自分に満足している									
20-24歳	0	45.0	45.0	10.0	10.0	15.0	55.0	20.0	N.S.
25-29歳	3.5	40.4	35.1	21.1	10.0	40.4	40.4	19.3	
30-34歳	4.7	38.4	43.0	14.0	4.7	33.7	48.8	12.8	
35歳以上	5.0	35.0	45.0	15.0	5.0	45.0	40.0	10.0	
全年齢	3.8	39.3	41.0	15.8	3.8	35.0	45.9	15.3	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
私は自分にはいくつかみどころがあると思っている									
20-24歳	25.0	40.0	30.0	5.0	25.0	25.0	35.0	15.0	N.S.
25-29歳	10.5	61.4	24.6	3.5	15.8	59.6	17.5	7.0	
30-34歳	14.0	59.3	18.6	8.1	22.1	52.3	24.4	1.2	
35歳以上	20.0	55.0	15.0	10.0	25.0	50.0	20.0	5.0	
全年齢	14.8	57.4	21.3	6.6	20.2	51.4	23.0	4.9	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				$\chi^2=21.83, p<0.05$				
私は大抵の人がやれる程度には物事ができる									
20-24歳	45.0	30.0	25.0	0	20.0	65.0	15.0	0	N.S.
25-29歳	19.3	70.2	10.5	0	33.3	59.6	7.0	0	
30-34歳	29.1	54.7	11.6	4.7	24.4	55.8	17.4	2.3	
35歳以上	30.0	70.0	0	0	35.0	60.0	5.0	0	
全年齢	27.9	58.5	11.5	2.2	27.9	58.5	12.6	1.1	
年齢群間の差 χ^2 検定	$\chi^2=18.50, p<0.05$				N.S.				
私は少なくとも他人と同じレベルに立つだけの価値ある人間だと思う									
20-24歳	45.0	25.0	30.0	0	15.0	60.0	20.0	5.0	N.S.
25-29歳	22.8	50.9	24.6	1.8	22.8	50.9	24.6	1.8	
30-34歳	23.3	55.8	12.8	8.1	26.7	46.5	26.7	0	
35歳以上	30.0	50.0	10.0	10.0	45.0	35.0	10.0	10.0	
全年齢	26.2	50.3	18.0	5.5	26.2	48.1	23.5	2.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
私はいつも自分に対して前向きな態度をとっている									
20-24歳	50.0	30.0	20.0	0	20.0	50.0	25.0	5.0	N.S.
25-29歳	26.3	38.6	29.9	5.3	29.8	54.4	14.0	1.8	
30-34歳	30.2	40.7	24.4	4.7	32.6	46.5	19.8	1.2	
35歳以上	30.0	60.0	10.0	0	65.0	30.0	5.0	0	
全年齢	31.1	41.0	24.0	3.8	33.9	47.5	16.9	1.6	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				

表Ⅱ-9 自己価値観(否定的質問項目)への回答(%)

	初産婦				経産婦				初・経産婦 間の差 χ^2 検定
	そ う	や や そ う	や や ち が う	ち が う	そ う	や や そ う	や や ち が う	ち が う	
私はときどき自分がまるでだめだと思う									
20-24歳	25.0	30.0	15.0	30.0	15.0	25.0	35.0	25.0	
25-29歳	12.3	28.1	38.6	21.1	10.5	29.8	40.4	19.3	
30-34歳	9.3	22.1	41.9	26.7	11.6	30.2	37.2	20.9	N.S.
35歳以上	0	20.0	45.0	35.0	10.	35.0	25.0	30.0	
全年齢	10.9	24.6	38.3	26.2	11.5	30.1	36.6	21.9	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
私はあまり得意に思うことがない									
20-24歳	15.0	30.0	25.0	30.0	10.0	50.0	25.0	15.0	
25-29歳	12.3	35.1	40.4	12.3	12.3	19.3	47.4	21.1	
30-34歳	10.5	30.2	48.8	10.5	4.7	34.9	39.5	20.9	N.S.
35歳以上	0	15.0	55.0	30.0	10.0	25.0	35.0	30.0	
全年齢	10.4	30.1	44.3	15.3	8.2	30.6	39.9	21.3	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
私はときどき自分が確かに役立たずだと感じる									
20-24歳	15.0	10.0	30.0	45.0	10.0	15.0	45.0	30.0	
25-29歳	3.5	26.3	42.1	28.1	7.0	14.0	40.4	38.6	
30-34歳	5.8	18.6	43.0	32.6	3.5	18.6	45.3	32.6	N.S.
35歳以上	5.0	10.0	30.0	55.0	0	25.0	35.0	40.0	
全年齢	6.0	19.1	39.9	35.0	4.9	17.5	42.6	35.0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
もう少し自分を尊敬できたならばと思う									
20-24歳	35.0	35.0	20.0	10.0	25.0	40.0	20.0	15.0	
25-29歳	26.3	38.6	28.1	7.0	17.5	38.6	33.33	10.5	
30-34歳	16.3	37.2	27.9	18.6	18.6	44.2	27.9	9.3	N.S.
35歳以上	0	20.0	50.0	30.0	5.0	45.0	35.0	15.0	
全年齢	19.7	35.5	29.5	15.3	17.5	42.1	29.5	10.9	
年齢群間の差 χ^2 検定	$\chi^2=19.62, p<0.05$				N.S.				
いつでも自分を失敗者だと思うことが多い									
20-24歳	15.0	20.0	25.0	40.0	10.0	10.0	45.0	35.0	
25-29歳	1.8	22.8	40.4	35.1	7.0	10.5	29.8	52.6	N.S.
30-34歳	1.2	18.6	40.7	39.5	1.2	17.4	43.0	38.4	
35歳以上	0	5.0	50.0	45.0	0	10.0	25.0	65.0	
全年齢	2.7	18.6	39.9	38.9	3.8	13.7	37.2	45.4	
年齢群間の差 χ^2 検定	$\chi^2=17.15, p<0.05$				N.S.				

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—

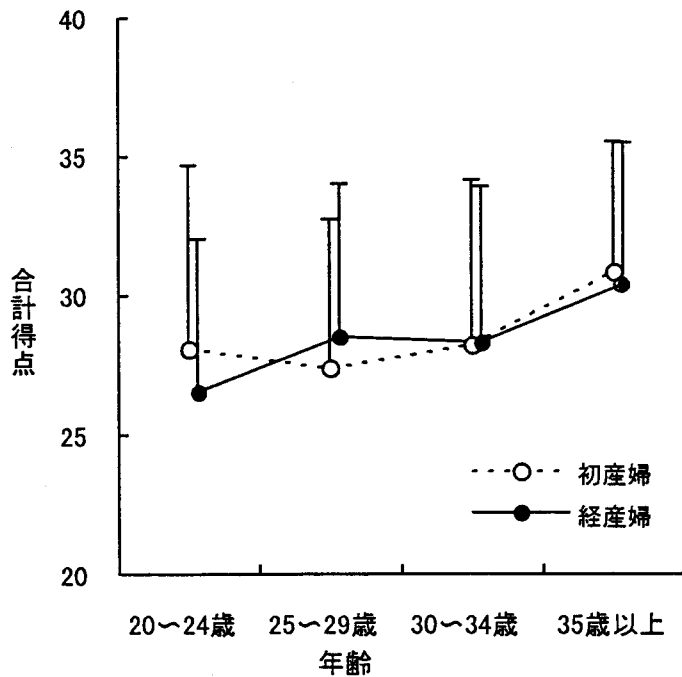


図Ⅱ-6 自己価値観に関する質問項目への回答「そう」「ややそう」の割合

表Ⅱ-10 自己価値観の合計得点の初・経産婦群別年齢群別比較と二元配置分散分析の結果

	初産婦	経産婦
20～24才	28.1 (6.6)	26.5 (5.5)
25～29才	27.4 (5.4)	28.5 (5.5)
30～34才	28.2 (5.9)	28.2 (5.6)
35才以上	30.8 (4.7)	30.4 (5.1)
全年齢	28.2 (5.8)	28.4 (5.5)
ANOVA		
年齢	F=2.82, df=3,1, p<0.05	
初・経産	N.S.	
交互作用	N.S.	

平均(標準偏差)



図Ⅱ-7 自己価値観の合計得点 (平均と標準偏差)

第4節 年齢群別および初・経産別にみた夫婦関係

第1項 夫婦関係に関する4項目の質問の回答の割合

夫婦関係に関する5項目における3選択肢の回答の割合を、年齢群別および初・経産別に示したのが、表Ⅱ-11と図Ⅱ-8である。

年齢群別で有意な差が認められたのは、経産婦で、「私は夫の感情の表現の仕方や、私の怒り、悲しみ、愛などの感情に感じて、夫が示してくれる態度や気持ちに満足している」であり ($p < 0.05$)、その質問に「ほとんどいつも」および「ときどき」と回答した者の割合は20～24歳群では他の年齢群より少ない傾向にあり、年齢群別で有意な差が認められた。その他の項目では年齢群別に有意な差は認められなかった。

一方、初・経産婦間で有意な差が認められたのも、「私は夫の感情の表現の仕方や、私の怒り、悲しみ、愛などの感情に感じて、夫が示してくれる態度や気持ちに満足している」であり ($p < 0.05$)、その質問に「ほとんどいつも」と回答した割合が経産婦 (30.1%) よりも初産婦 (44.3%) で高い傾向にあった。

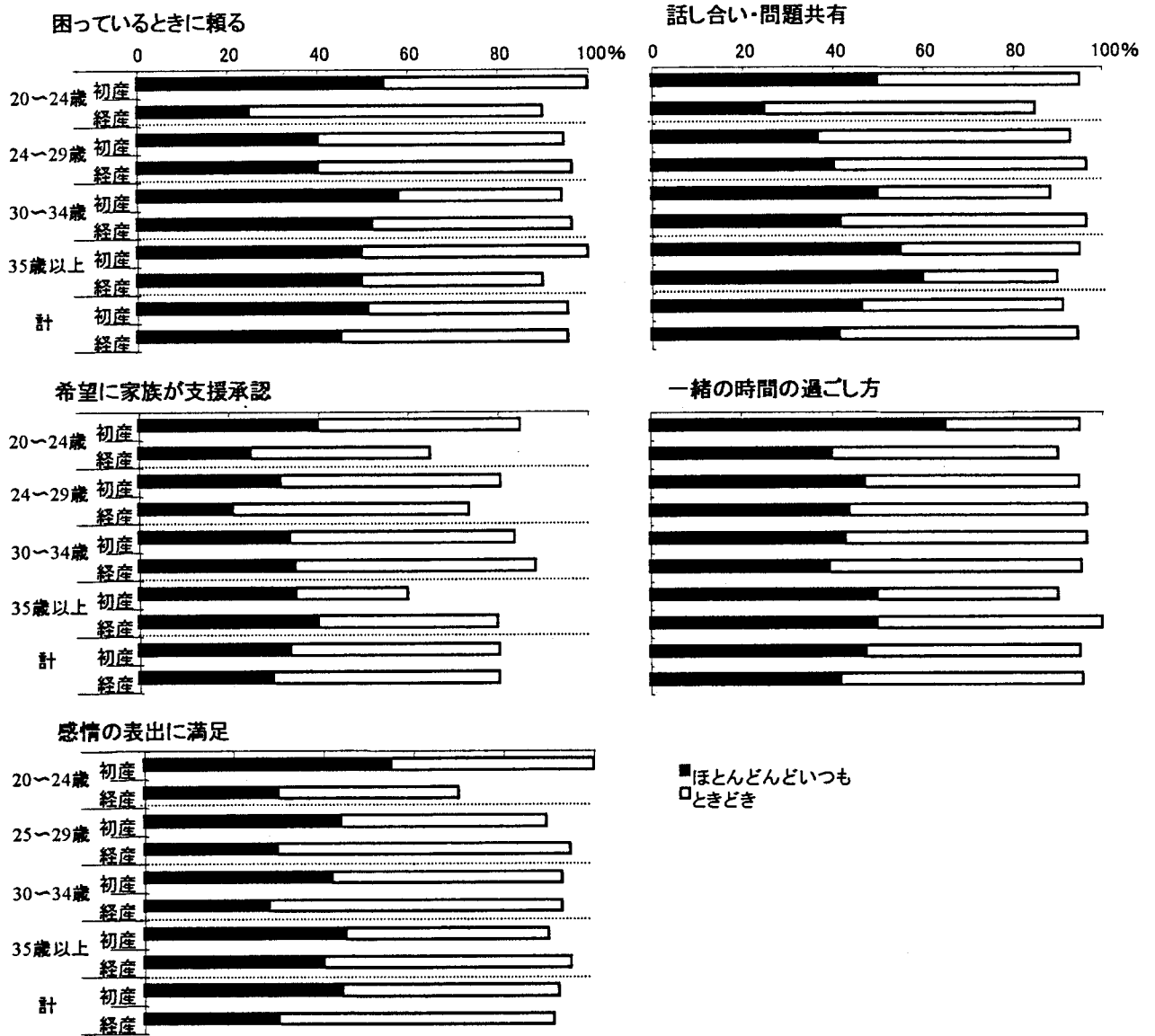
第2項 夫婦関係の合計得点と標準偏差

夫婦関係に関する5項目の合計得点の平均と標準偏差を、年齢群別および初・経産別に示したのが表Ⅱ-12と図Ⅱ-9である。夫婦関係の合計得点は、20～24歳群では初産婦では経産婦に比較して高いものの、分散分析の結果、年齢群別、初・経産別および両者の交互作用にはいずれも有意な効果が認められなかった。

表Ⅱ-11 夫婦関係に関する質問項目への回答(%)

	初産婦		経産婦			初・経産婦 間の差 χ^2 検定
	ほと んど い つも	ほと んど な い	ほと んど い つも	ほと んど い つも	ほと んど な い	
私が困っているとき、夫の援助に頼ることができることに満足している						
20-24歳	55.0	45.0	0	25.0	65.0	10.0
25-29歳	40.4	54.4	5.3	40.4	56.1	3.5
30-34歳	58.1	36.0	5.8	52.3	44.2	3.5
35歳以上	50.0	50.0	0	55.0	45.0	0
全年齢	51.4	44.3	4.4	48.8	50.3	3.8
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.			
私は、夫が私と話し合ったり、問題を共有したりする方法に満足している						
20-24歳	50.0	45.0	5.0	25.0	60.0	15.0
25-29歳	36.8	56.1	7.0	40.4	56.1	3.5
30-34歳	50.0	38.4	11.6	41.9	54.7	3.5
35歳以上	55.0	40.0	5.0	60.0	30.0	10.0
全年齢	46.4	44.8	8.7	41.5	53.0	5.5
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.			
私は私の希望を夫が支援し認めたりすることに満足している						
20-24歳	40	45.0	15.0	25.0	40.0	35.0
25-29歳	31.6	49.1	19.3	21.1	52.6	26.3
30-34歳	33.7	50.0	16.3	34.9	53.5	11.6
35歳以上	35.0	25.0	40.0	40.0	40.0	20.0
全年齢	33.9	46.4	19.7	30.1	50.3	19.7
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.			
私は夫の感情の表現の仕方や、私の怒り、悲しみ、愛などの感情に感じて夫が示してくれる態度や気持ちに満足している						
20-24歳	55.0	45.0	0	30.0	40.0	30.0
25-29歳	43.9	45.6	10.5	29.8	64.9	5.3
30-34歳	41.9	51.2	7.0	27.9	65.1	7.0
35歳以上	45.0	45.0	10.0	40.0	55.0	5.0
全年齢	44.3	48.1	7.7	30.1	61.2	8.7
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		$\chi^2=14.48, p<0.05$			
私は夫と一緒に過ごす時間に満足している						
20-24歳	65.0	30.0	5.0	40.0	50.0	10.0
25-29歳	47.4	47.4	5.3	43.9	52.6	3.5
30-34歳	43.0	53.5	3.5	39.6	55.8	4.7
35歳以上	50.0	40.0	10.0	50.0	50.0	0
全年齢	47.5	47.5	4.9	42.1	53.6	4.4
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.			

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因－出産後10か月の調査による分析－

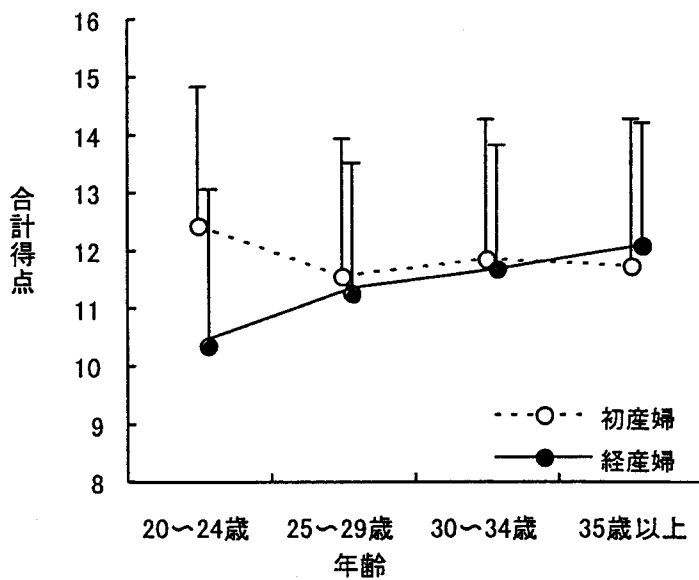


図Ⅱ-8 夫婦関係に関する質問項目への回答「ほとんどいつも」「ときどき」の割合

表Ⅱ-12 夫婦関係の合計得点の初・経産婦群別年齢群別比較と二元配置分散分析の結果

	初産婦	経産婦
20～24才	12.4 (2.4)	10.5 (2.7)
25～29才	11.5 (2.4)	11.3 (2.2)
30～34才	11.8 (2.4)	11.7 (2.2)
35才以上	11.7 (2.4)	12.1 (2.1)
全年齢	11.8 (2.4)	11.5 (2.2)
ANOVA		
年齢		N.S.
初・経産		N.S.
交互作用		N.S.

平均(標準偏差)



図Ⅱ-9 夫婦関係の合計得点 (平均と標準偏差)

第5節 年齢群別および初・経産別にみた性別役割分業観

第1項 性別役割分業観に関する16項目の質問の回答の割合

性別役割分業観に関する非伝統的な7項目については表Ⅱ-13と図Ⅱ-10に、その伝統的な9項目については表Ⅱ-14と図Ⅱ-11に、それぞれ年齢群別および初・経産別に示した。その15項目の全てにおいて年齢群別に有意な差がみられず、初・経産婦間での有意な差が認められなかった。「非常に賛成」と「やや賛成」の回答割合は、非伝統的な項目では、「男でも女でも同じだけ仕事をすれば同じだけの賃金が支払われるべきだ」が、初産婦(95.6%)、経産婦(94.6%)と最も多く、ついで「働く母でも子どもとの間に暖かでよい関係を持つことができる」(91.8%、89.1%)、「女性にも男性と同じように仕事にチャンスが得られるべきだ」(78.1%、81.9%)、「出産や育児が仕事をする女性にとって妨げにならないようにすべき」(73.3%、73.2%)、「夫が家事を受け持ち、妻が稼いでもいいと思う」(67.8%、75.9%)、「家庭で子どもを育てるために夫が家事を受け持ち、妻が外で仕事してもいいと思う」(62.3%、71.6%)、「職業をもつということは自分自身の人生で一番重要なことだ」(20.8%、30.6%)の順に少なくなっていた。一方、伝統的な項目では、初産婦および経産婦とも「精神的、感情的に女性に向かない仕事もある」(76.5%、71.6%)が最も多く、ついで「母親が働いていると小学校前の子どもに害がおよびやすい」(32.8%、31.1%)、「女性は仕事を持っていても、まず育児と家事を自分の仕事と思うべきだ」(28.4%、32.8%)、「重要な仕事を持っていても、やはり本来女性のいる場所は家庭なのである」(25.7%、30.0%)、「子どもを産んではじめて女性は一人前になれる」(24.5%、27.3%)の順で、残りの「女性は家において、子どもの世話をしているのが一番幸せである」「女性は家庭の管理をし、国家や政治のことは男性に任せておけばよい」、「子どものいる女性は仕事の成功をあきらめなければならない」が20%未満であった。

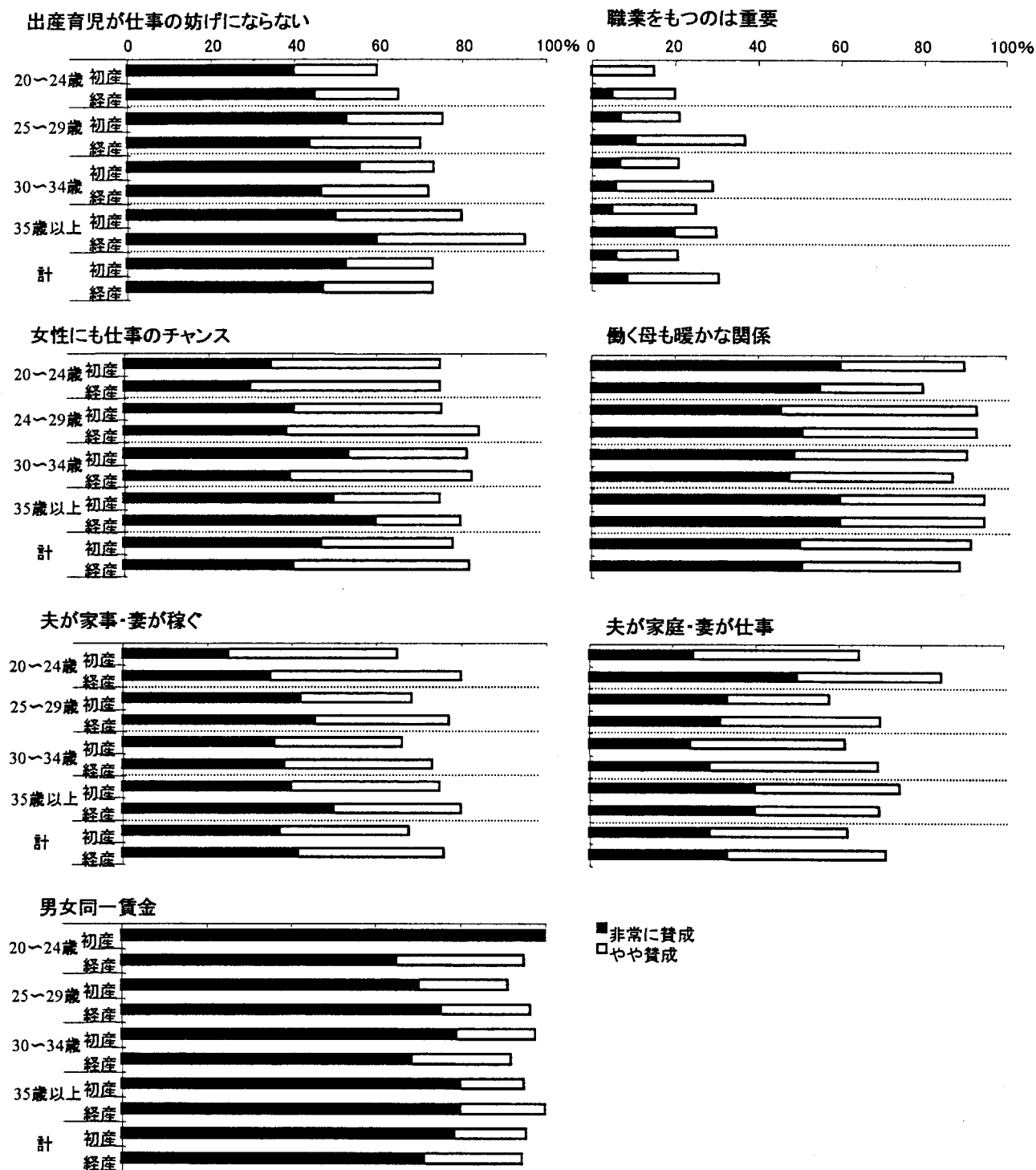
第2項 性別役割分業観の合計得点と標準偏差

表Ⅱ-15と図Ⅱ-12には、性別役割分業観についての合計得点の平均と標準偏差を示したが、分散分析の結果では、年齢群別、初・経産別および両者の交互作用にいずれも有意な効果が認められなかった。

表Ⅱ-13 性別役割分業観(非伝統的内容質問項目)への回答(%)

	初産婦					経産婦					初・経産婦間の差 χ^2 検定
	非常に賛成	やや賛成	どちらでもない	やや反対	非常に反対	非常に賛成	やや賛成	どちらでもない	やや反対	非常に反対	
出産や育児が仕事をする女性にとって妨げにならないようにすべき											
20-24歳	40.0	20.0	30.0	10.0	0	45.0	20.0	15.0	15.0	5.0	N.S.
25-29歳	52.6	22.8	15.8	8.8	0	43.9	26.3	21.1	5.3	3.5	
30-34歳	55.8	17.4	16.3	2.3	8.1	46.5	25.6	20.9	5.8	1.2	
35歳以上	50.0	30.0	10.0	10.0	0	60.0	35.0	0	5.0	0	
全年齢	52.5	20.8	16.9	6.0	3.8	47.0	26.2	18.0	6.6	2.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					
職業をもつということは自分自身の人生で一番重要なことだ											
20-24歳	0	15.0	50.0	25.0	10.0	5.0	15.0	50.0	20.0	10.0	N.S.
25-29歳	7.0	14.0	42.1	29.8	7.0	10.5	26.3	43.9	14.0	5.3	
30-34歳	7.0	14.0	57.0	19.8	2.3	5.8	23.3	40.7	20.9	9.3	
35歳以上	5.0	20.0	45.0	25.0	5.0	20.0	10.0	35.0	25.0	10.0	
全年齢	6.0	14.8	50.3	24.0	4.9	8.7	21.9	42.1	19.1	8.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					
女性にも男性と同じように仕事にチャンスが得られるべきだ											
20-24歳	35.0	40.0	25.0	0	0	30.0	45.0	10.0	5	10.0	N.S.
25-29歳	40.4	35.1	21.1	1.8	1.8	38.6	45.6	15.8	0	0	
30-34歳	53.5	27.9	14.0	3.5	1.2	39.6	43.0	14.0	2.3	1.2	
35歳以上	50.0	25.0	20.0	5.0	0	60.0	20.0	15.0	0	5.0	
全年齢	47.0	31.1	18.0	2.7	1.1	40.4	41.5	14.2	1.6	2.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					
働く母でも子どもとの間に暖かでよい関係を持つことができる											
20-24歳	60.0	30.0	5.0	5.0	0	55.0	25.0	10.0	5.0	5.0	N.S.
25-29歳	45.6	47.4	5.3	1.8	0	50.9	42.1	5.3	1.8	0	
30-34歳	48.8	41.9	7.0	2.3	0	47.0	39.5	8.1	3.5	1.2	
35歳以上	60.0	35.0	5.0	0	0	60.0	35.0	5.0	0	0	
全年齢	50.3	41.5	6.0	2.2	0	50.8	38.3	7.1	2.7	1.1	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					
夫が家事を受け持ち、妻が稼いでもいいと思う											
20-24歳	25.0	40.0	25.0	10.0	0	35.0	45.0	15.0	0	5.0	N.S.
25-29歳	42.1	26.3	19.3	5.3	7.0	45.6	31.6	15.8	7.0	0	
30-34歳	36.0	30.2	19.8	10.5	3.5	38.4	34.9	19.8	3.5	3.5	
35歳以上	40.0	35.0	20.0	0	5.0	50.0	30.0	15.0	0	5.0	
全年齢	37.2	30.6	20.2	7.7	4.4	41.5	34.4	17.5	3.8	2.7	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					
家庭で子どもを育てるために夫が家事を受け持ち、妻が外で仕事してもいいと思う											
20-24歳	25.0	40.0	30.0	5.0	0	50.0	35.0	10.0	5.0	0	N.S.
25-29歳	33.3	24.6	24.6	10.5	7.0	31.6	38.6	24.6	5.3	0	
30-34歳	24.4	37.2	20.9	10.5	7.0	29.1	40.7	19.8	7.0	3.5	
35歳以上	40.0	35.0	20.0	0	5.0	40.0	30.0	20.0	5.0	5.0	
全年齢	29.0	33.3	23.0	8.7	6.0	33.3	38.3	20.2	6.0		
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					
男でも女でも同じだけ仕事をすれば同じだけの賃金が支払われるべきだ											
20-24歳	100	0	0	0	0	65.0	30.0	0	0	5.0	N.S.
25-29歳	70.2	21.1	7.0	1.8	0	75.4	21.1	3.5	0	0	
30-34歳	79.1	18.6	2.3	0	0	68.6	23.3	7.0	1.2	0	
35歳以上	80.0	15.0	5.0	0	0	80.0	20.0	0	0	0	
全年齢	78.7	16.9	3.8	0.5	0	71.6	23.0	4.4	0.5	0.5	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—

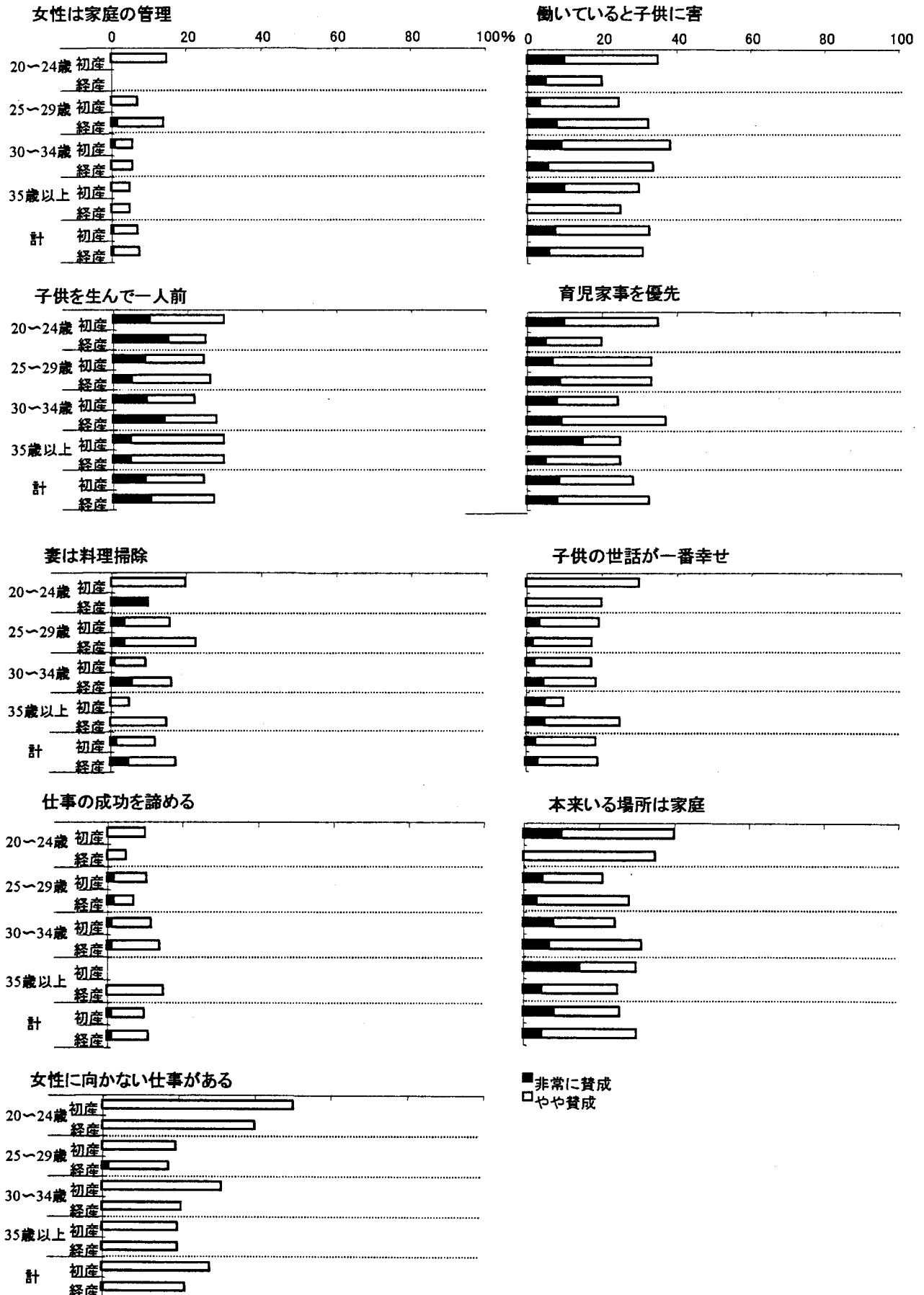


図Ⅱ-10 性別役割分業観（非伝統的内容質問項目）への回答「非常に賛成」「やや賛成」の割合

表Ⅱ-14 性別役割分業観(伝統的質問項目)への回答(%)

	初産婦					経産婦					初・経産婦間の差 χ^2 検定
	非常に賛成	やや賛成	どちらでもない	やや反対	非常に反対	非常に賛成	やや賛成	どちらでもない	やや反対	非常に反対	
女性 は 家庭の管理をし、国家や政治のことは男性に任せておけばよい											
20-24歳	0	15.0	20.0	40.0	25.0	0	15.0	45.0	40.0		
25-29歳	0	7.0	21.1	40.4	31.6	1.8	12.3	22.8	35.1	28.1	
30-34歳	1.2	4.7	20.9	20.9	52.3	0	5.8	22.1	30.2	41.9	
35歳以上	0	5.0	15.0	35.0	45.0	0	5.0	5.0	35.0	55.0	
全年齢	0.5	6.6	20.2	30.6	42.1	0.5	7.1	19.7	33.9	38.8	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					N.S.
母親が働いていると小学校前の子どもに害がおよびやすい											
20-24歳	10.0	25.0	45.0	15.0	5.0	5.0	15.0	55.0	0	25.0	
25-29歳	3.5	21.1	40.4	21.1	14.0	8.8	24.6	40.4	15.8	10.5	
30-34歳	9.3	29.1	30.2	15.1	16.3	5.8	27.9	31.4	15.1	19.8	
35歳以上	10.0	20.0	40.0	15.0	15.0	0	25.0	30.0	20.0	25.0	
全年齢	7.7	25.1	36.1	16.9	14.2	6.0	25.1	36.6	14.2	18.0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					N.S.
子どもを産んではじめて女性は一人前になれる											
20-24歳	10.0	20.0	30.0	15.0	25.0	15.0	10.0	30.0	25.0	20.0	
25-29歳	8.8	15.8	26.3	26.3	22.8	5.3	21.1	35.1	21.1	17.5	
30-34歳	9.3	12.8	27.9	20.9	29.1	14.0	14.0	25.6	25.6	20.9	
35歳以上	5.0	25.0	10.0	10.0	50.0	5.0	25.0	30.0	15.0	25.0	
全年齢	8.7	15.8	25.7	20.8	29.0	10.4	16.9	29.5	23.0	20.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					N.S.
女性は仕事を持っていても、まず育児と家事を自分の仕事と思うべきだ											
20-24歳	10.0	25.0	25.0	35.0	5.0	5.0	15.0	35.0	30.0	15.0	
25-29歳	7.0	26.3	24.6	22.8	19.3	8.8	24.6	29.8	28.1	8.8	
30-34歳	8.1	16.3	29.1	25.6	20.9	9.3	27.9	25.6	22.1	15.1	
35歳以上	15.0	10.0	25.0	30.0	20.0	5.0	20.0	20.0	40.0	15.0	
全年齢	8.7	19.7	26.8	26.2	18.6	8.2	24.6	27.3	26.8	13.1	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					N.S.
妻が料理や掃除をやり、夫が家族のために金を稼いでくるべきだ											
20-24歳	0	20.0	55.0	10.0	15.0	10.0	0	25.0	35.0	30.0	
25-29歳	3.5	12.3	29.8	33.3	21.1	3.5	19.3	31.6	28.1	17.5	
30-34歳	1.2	8.1	29.1	24.4	37.2	5.8	10.5	27.9	27.9	27.9	
35歳以上	0	5.0	45.0	10.0	40.0	0	15.0	30.0	20.0	35.0	
全年齢	1.6	10.4	33.9	24.0	30.1	4.9	12.6	29.0	27.9	25.7	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					N.S.
女性は家において、子どもの世話をしているのが一番幸せである											
20-24歳	0	30.0	40.0	10.0	20.0	0	20.0	45.0	30.0	5.0	
25-29歳	3.5	15.8	54.4	19.3	7.0	1.8	15.8	54.4	19.3	8.8	
30-34歳	2.3	15.1	45.3	16.3	20.9	4.7	14.0	38.4	26.7	16.3	
35歳以上	5.0	5.0	25.0	35.0	30.0	5.0	20.0	25.0	25.0	25.0	
全年齢	2.7	15.8	45.3	18.6	17.5	3.3	15.8	42.6	24.6	13.7	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					N.S.
子どものいる女性は仕事の成功をあきらめなければならない											
20-24歳	0	10.0	15.0	35.0	40.0	0	5.0	20.0	20.0	55.0	
25-29歳	1.8	8.8	12.3	40.4	36.8	1.8	5.3	29.8	26.3	36.8	
30-34歳	1.2	10.5	10.5	31.4	46.5	1.2	12.8	11.6	33.7	40.7	
35歳以上	0	0	20.0	25.0	55.0	0	15.0	15.0	25.0	45.0	
全年齢	1.1	8.7	12.6	33.9	43.7	1.1	9.8	18.6	29.0	41.5	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					N.S.
重要な仕事を持っていても、やはり本来女性のいる場所は家庭なのである											
20-24歳	10.0	30.0	30.0	30.0	0	0	35.0	20.0	25.0	20.0	
25-29歳	5.3	15.8	33.3	31.6	14.0	3.5	24.6	24.6	28.1	19.3	
30-34歳	8.1	16.3	36.0	17.4	22.1	7.0	24.4	24.4	26.7	17.4	
35歳以上	15.0	15.0	15.0	25.0	30.0	5.0	20.0	15.0	25.0	35.0	
全年齢	8.2	17.5	32.2	24.0	18.0	4.9	25.1	23.0	26.8	20.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					N.S.
精神的、感情的に女性に向かない仕事もある											
20-24歳	50.0	40.0	5.0	0	5.0	40.0	15.0	40.0	5.0	0	
25-29歳	19.3	59.6	14.0	7.0	0	16.5	56.1	19.3	5.3	1.8	
30-34歳	31.4	44.2	14.0	8.1	2.3	20.9	54.7	18.6	3.5	2.3	
35歳以上	20.0	40.0	15.0	5.0	20.0	20.0	50.0	15.0	10.0	5.0	
全年齢	28.4	48.1	13.1	6.6	3.8	21.3	50.3	20.8	4.9	2.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					N.S.

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—

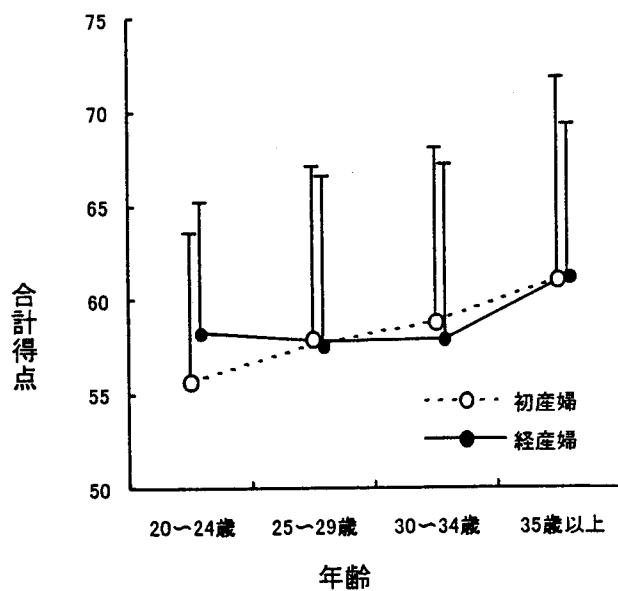


図Ⅱ-11 性別役割分業観（伝統的内容質問項目）への回答「非常に賛成」「やや賛成」の割合

表Ⅱ-15 性別役割分業観の合計得点の初・経産婦群別年齢群別比較と二元配置分散分析の結果

	初産婦	経産婦
20～24才	55.6 (7.9)	58.2 (7.2)
25～29才	57.6 (9.5)	57.7 (9.0)
30～34才	58.8 (9.3)	57.9 (9.3)
35才以上	61.1 (10.8)	61.2 (8.1)
全年齢	58.3 (9.4)	58.2 (8.9)
ANOVA		
年齢		N.S.
初・経産		N.S.
交互作用		N.S.

平均(標準偏差)



図Ⅱ-12 性別役割分業観の合計得点 (平均と標準偏差)

第6節 家族の支援に関する分析

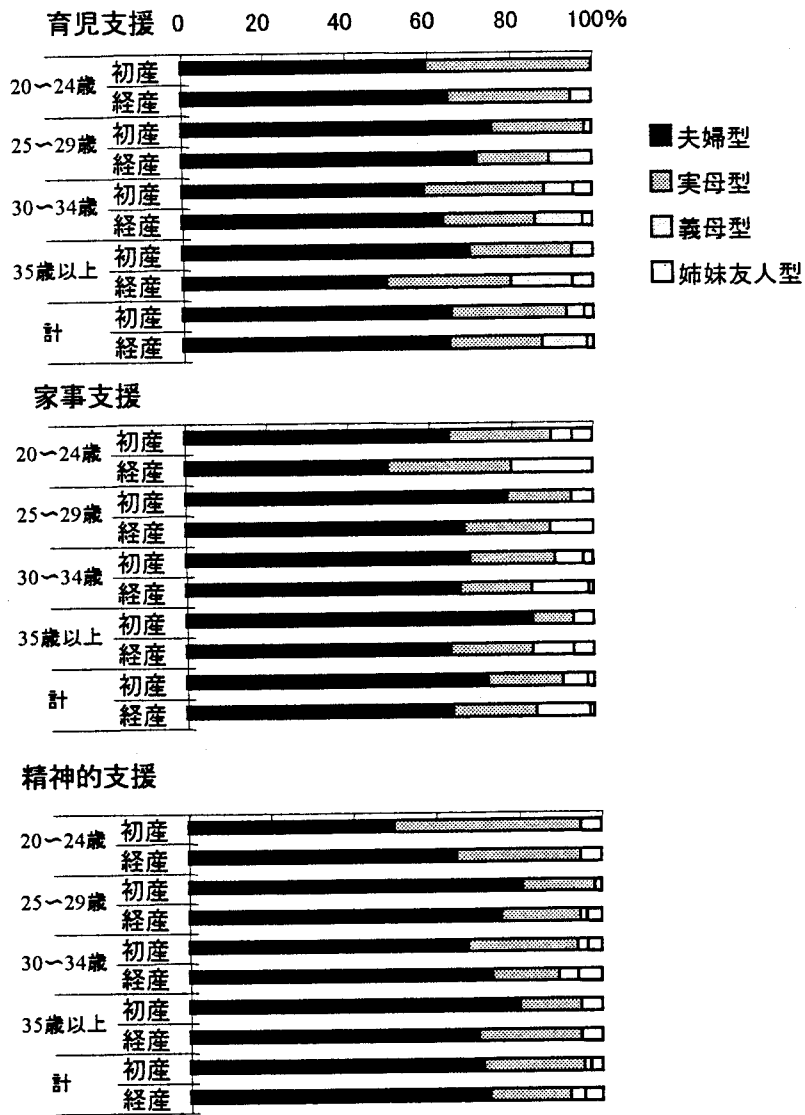
第1項 家族の支援型

育児、家事および精神的支援に対する満足度が最も高い家族型の割合について、年齢群別および初・経産別に示したのが表Ⅱ-16と図Ⅱ-13である。育児支援、家事支援および精神的支援の質問項目については、いずれも年齢群別に有意な差がみられなかった。初産婦と経産婦のそれぞれにおいて3つの支援のいずれも夫婦型が最も多く、ついで実母型であった。

表Ⅱ-16 支援の家族型の構成割合 (%)

	初産婦					経産婦					初・経産婦 間の差 χ^2 検定
	夫 婦 型	実 母 型	義 母 型	姉 妹 友 人 型	支 援 な し	夫 婦 型	実 母 型	義 母 型	姉 妹 友 人 型	支 援 な し	
育児支援											
20～24歳	60.0	40.0	0	0	0	65.0	30.0	5.0	0	0	N.S.
25～29歳	75.4	22.8	1.8	0	0	71.9	17.5	10.5	0	0	
30～34歳	59.3	29.1	7.0	4.7	0	64.0	22.1	11.6	2.3	0	
35歳以上	70.0	25.0	5.0	0	0	50.0	30.0	15.0	5.0	0	
全年齢	65.6	27.9	4.4	2.2	0	65.0	22.4	10.9	1.6	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					
家事支援											
20～24歳	65.0	25.0	5.0	5.0	0	50.0	30.0	20.0	0	0	N.S.
25～29歳	78.9	15.8	5.3	0	0	68.4	21.1	10.5	0	0	
30～34歳	69.8	20.9	7.0	2.3	0	67.4	17.4	14.0	1.2	0	
35歳以上	85.0	10.0	5.0	0	0	65.0	20.0	10.0	5.0	0	
全年齢	73.8	18.6	6.0	1.6	0	65.6	20.2	13.1	1.1	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					
精神的支援											
20～24歳	50.0	45.0	0	5.0	0	65.0	30.0	5.0	0	0	N.S.
25～29歳	80.7	17.5	0	1.8	0	75.4	19.3	1.8	3.5	0	
30～34歳	67.4	26.7	2.3	3.5	0	73.3	16.3	4.7	5.8	0	
35歳以上	80.0	15.0	5.0	0	0	70.0	25.0	0	5.0	0	
全年齢	71.0	24.6	1.6	2.7	0	72.7	19.7	3.3	4.4	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.					N.S.					

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—



図Ⅱ-13 初経産婦別、年齢別にみた支援満足度が最も高い家族型の割合 (%)

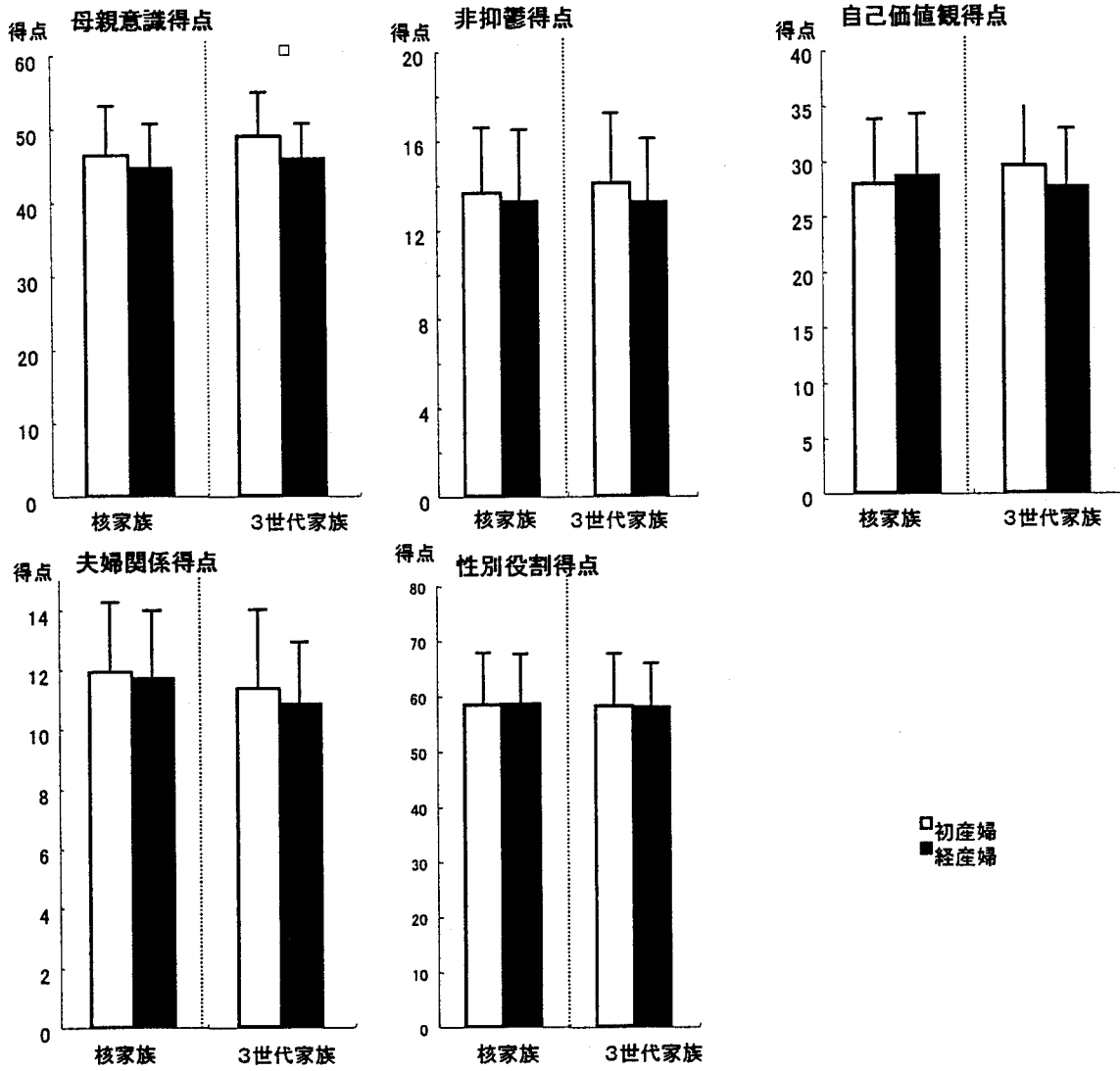
第2項 家族構成別にみた母親意識およびその他の項目の合計得点

家族構成，すなわち核家族か3世代家族かによって母親意識や非抑鬱感，自己価値観，夫婦関係および性別役割分業観に差異があるか否かを検討するために，表Ⅱ-17と図Ⅱ-14には，それらの合計得点の平均と標準偏差を，家族構成別及び初・経産別に示した．2元配置分散分析の結果，母親意識の合計得点の平均には，家族形態 ($p<0.05$) と初・経産 ($p<0.01$) に有意な効果がみとめられたが，両者の交互作用には有意な効果がみられなかった．また，夫婦関係の合計得点の平均には，家族形態のみ有意な効果がみとめられた ($p<0.05$)．母親意識の合計得点については，初産婦および経産婦とも核家族よりも3世代家族の母親の方が高く，かつ経産婦よりも初産婦の方が，その合計得点が高かった．また，夫婦関係の合計得点については，初産婦および経産婦とも3世代家族よりも核家族の方が高かった．しかし，非抑鬱・自己価値観・性別役割分業観の合計得点には，いずれも家族形態，初・経産および両者の交互作用に有意な効果がみられなかった．

表Ⅱ-17 家族構成別および初・経産別における各合計得点の平均(標準偏差)

	核家族		3世代家族		ANOVA		
	初産婦 N= 151	経産婦 N= 139	初産婦 N= 32	経産婦 N= 44	家族形態 F (p)	初・経産 F (p)	交互作用 F (p)
母親意識合計得点	46.2 (6.8)	44.5 (6.0)	48.7 (6.0)	45.6 (4.8)	4.92 ($p<0.05$)	8.73 ($p<0.01$)	N.S.
非抑鬱合計得点	13.6 (2.9)	13.2 (3.2)	14.1 (3.2)	13.2 (2.8)	N.S.	N.S.	N.S.
自己価値観合計得点	27.9 (5.8)	28.6 (5.6)	29.6 (5.4)	27.6 (5.3)	N.S.	N.S.	N.S.
夫婦関係合計得点	11.9 (2.4)	11.7 (2.2)	11.3 (2.6)	10.8 (2.1)	6.04 ($p<0.05$)	N.S.	N.S.
性別役割分業観合計得点	58.4 (9.4)	58.4 (9.1)	58.0 (9.6)	57.7 (8.2)	N.S.	N.S.	N.S.

第II部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—



図II-14 家族形態別および初・経産別にみた各得点 (平均と標準偏差)

第7節 年齢群別および初・経産別にみた父親意識

第1項 父親意識に関する14項目の質問の回答の割合

父親意識に関する14項目の質問についての4つの選択肢からの回答の割合をそれぞれ年齢群別および初・経産別にみた。父親意識に関する肯定的な7項目は表Ⅱ-18と図Ⅱ-15に、否定的な7項目は表Ⅱ-19と図Ⅱ-16に示した。

年齢群別で有意な差が認められたのは、初産婦で、否定的質問の「子育てから解放されたいと思う」であり ($p<0.05$)、その質問に「とてもそう」および「ややそう」と回答した割合は、20～24歳群では他の年齢群より少ない傾向であった。

初・経産婦間で有意な差が認められたのは、肯定的な質問の「子どもと遊ぶのは楽しい」 ($p<0.05$) であり、その質問に「とてもそう」と回答した割合が、経産婦の夫が76.0%に比較して、初産婦の夫が85.2%であり、初産婦の夫に多い傾向であった。一方、否定的な質問で初・経産婦間で有意な差が認められたのは、「子育てでイライラすることがある」 ($p<0.05$) であり、その質問に、「とてもそう」および「ややそう」と回答した割合は、初産婦の夫が60.1%に比較して、経産婦の夫で70.5%と多く、また、「子どもを叱るあまり思わず手をあげることがある」 ($p<0.001$) でも有意な差が認められ、初産婦の夫の31.2%に比較して、経産婦の夫で58.5%と多く、いずれも経産婦の夫に多い傾向であった。

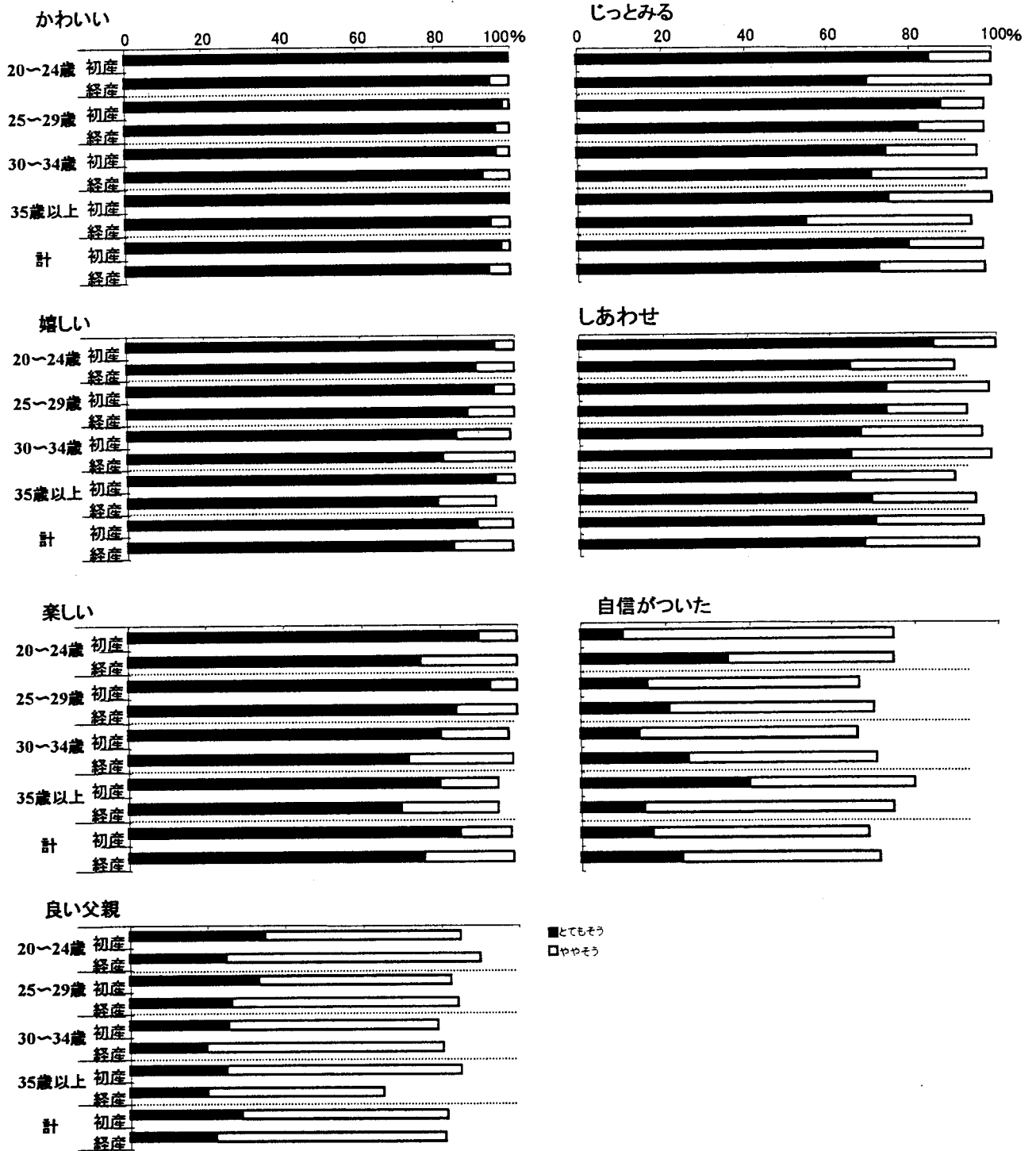
第2項 父親意識の合計得点の平均と標準偏差

14項目の父親意識の合計得点の平均と標準偏差を年齢群別および初・経産別に示したのが表Ⅱ-21と図Ⅱ-17である。分散分析の結果、年齢群のみに有意な効果が認められた ($F=2.71$, $p<0.05$)。すなわち、初産婦では、父親意識の合計得点は、20～24歳群では、39～34歳群および35歳群に比較して高く ($p<0.01$)、有意な差が認められている。また、経産婦および、初・経産婦全体でも、20～24歳群では、他の全ての年齢群に比較して高く ($p<0.01$)、有意な差が認められている。

表Ⅱ-18 父親意識(肯定質問項目)への回答(%)

	妻初産婦				妻経産婦				初・経産婦間の差 χ^2 検定
	とてもそう	ややそう	ややいいえ	いいえ	とてもそう	ややそう	ややいいえ	いいえ	
子どもはかわいい									
20-24歳	100	0	0	0	95.0	5.0	0	0	
25-29歳	98.2	1.8	0	0	96.5	3.5	0	0	
30-34歳	96.5	3.5	0	0	93.0	7.0	0	0	
35歳以上	100	0	0	0	95.0	5.0	0	0	N.S.
全年齢	97.8	2.2	0	0	94.5	5.5	0	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子どもは私をじっとみしてくれる									
20-24歳	85.0	15.0	0	0	70.0	30.0	0	0	
25-29歳	87.7	10.5	0	1.8	82.5	15.8	1.8	0	
30-34歳	74.4	22.1	3.5	0	70.9	27.9	1.2	0	
35歳以上	75.0	25.0	0	0	55.0	40.0	5.0	0	N.S.
全年齢	79.8	18.0	1.6	0.5	72.7	25.7	1.6	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子どもと一緒にいるのは嬉しい									
20-24歳	95.0	5.0	0	0	90.0	10.0	0	0	
25-29歳	94.7	5.3	0	0	87.7	12.3	0	0	
30-34歳	84.9	14.0	1.2	0	81.4	18.6	0	0	
35歳以上	95.0	5.0	0	0	80.0	15.0	5.0	0	N.S.
全年齢	90.2	9.3	0.5	0	84.2	15.3	0.5	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てしている今は幸せ									
20-24歳	85.0	15.0	0	0	65.0	25.0	5.0	5.0	
25-29歳	73.7	24.6	1.8	0	73.7	19.3	3.5	3.5	
30-34歳	67.4	29.1	3.5	0	65.1	33.7	1.2	0	
35歳以上	65.0	25.0	10.0	0	70.0	25.0	5.0	0	N.S.
全年齢	71.0	23.3	3.3	0	68.3	27.3	2.7	1.6	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子どもと遊ぶのは楽しい									
20-24歳	90.0	10.0	0	0	75.0	25.0	0	0	
25-29歳	93.0	7.0	0	0	84.2	15.8	0	0	
30-34歳	80.2	17.4	2.3	0	72.1	26.7	1.2	0	$\chi^2=6.09$
35歳以上	80.0	15.0	5.0	0	70.0	25.0	5.0	0	$p<0.05$
全年齢	85.2	13.1	1.6	0	76.0	23.0	1.1	0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てを自分でやれる自信がついた									
20-24歳	10.0	65.0	20.0	5.0	35.0	40.0	20.0	5.0	
25-29歳	15.8	50.9	15.8	17.5	21.1	49.1	19.3	10.5	
30-34歳	14.0	52.3	25.6	8.1	25.6	45.3	20.9	8.1	
35歳以上	40.0	40.0	20.0	0	15.0	60.0	25.0	0	N.S.
全年齢	16.9	51.9	21.3	9.9	24.0	47.5	20.8	7.7	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子どもにとってよい父親だと思う									
20-24歳	35.0	50.0	10.0	5.0	25.0	65.0	10.0	0	
25-29歳	33.3	49.1	8.8	8.8	26.3	57.9	10.5	5.3	
30-34歳	25.6	53.5	17.4	3.5	19.8	60.5	16.3	3.5	N.S.
35歳以上	25.0	60.0	15.0	0	20.0	45.0	35.0	0	
全年齢	29.0	52.5	13.7	4.9	22.4	58.5	15.8	3.3	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—

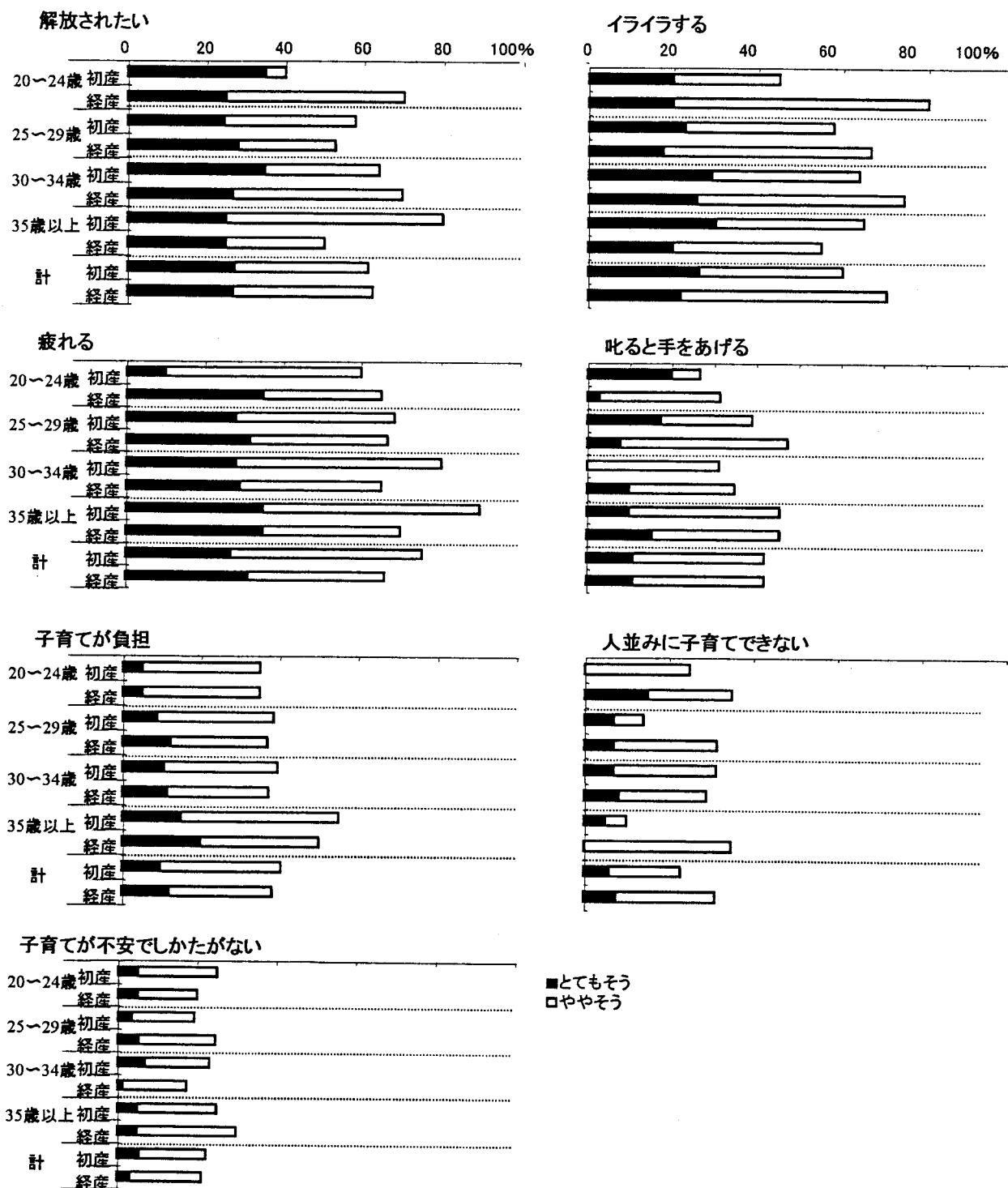


図Ⅱ-15 父親意識（肯定的質問項目）への回答「とてもそう」「ややそう」の割合

表II-19 父親意識(否定質問項目)への回答(%)

	妻初産婦				妻経産婦				初・経産婦間の差 χ^2 検定
	とてもそう	ややそう	ややいいえ	いいえ	とてもそう	ややそう	ややいいえ	いいえ	
子育てから解放されたいと思う									
20-24歳	10.0	35.0	15.0	40.0	25.0	45.0	5.0	25.0	
25-29歳	24.6	33.3	14.0	28.1	29.8	24.6	12.3	33.3	
30-34歳	34.9	29.1	12.8	23.3	26.7	43.0	9.3	20.9	
35歳以上	25.0	55.0	10.0	10.0	25.0	25.0	15.0	35.0	N.S.
全年齢	27.9	33.9	13.1	25.1	26.8	35.5	10.4	26.8	
年齢群間の差 χ^2 検定	$\chi^2=21.17, p<0.05$				N.S.				
子育てでイライラすることがある									
20-24歳	20.0	25.0	30.0	25.0	20.0	60.0	10.0	10.0	
25-29歳	22.8	35.1	10.5	31.6	17.5	49.1	12.3	21.1	
30-34歳	29.1	34.9	19.8	16.3	25.6	48.8	19.8	5.8	$\chi^2=9.10$
35歳以上	30.0	35.0	30.0	5.0	20.0	35.0	20.0	25.0	$p<0.05$
全年齢	26.2	33.9	19.1	20.8	21.9	48.6	16.4	13.1	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てでは疲れる									
20-24歳	10.0	50.0	15.0	25.0	35.0	30.0	0	35.0	
25-29歳	28.1	40.4	14.0	17.5	31.6	35.1	14.0	19.3	
30-34歳	27.9	52.3	11.6	8.1	29.1	36.0	22.1	12.8	N.S.
35歳以上	35.0	55.0	10.0	0	35.0	35.0	15.0	15.0	
全年齢	26.8	48.6	12.6	12.0	31.1	35.0	16.4	17.5	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子どもを叱るあまり手をあげることがある									
20-24歳	20.0	6.7	73.3	0	2.9	28.6	65.7	2.9	
25-29歳	17.4	21.7	47.8	13.0	7.9	39.5	42.1	10.5	
30-34歳	0	31.3	43.8	25.0	10.0	25.0	40.0	25.0	$\chi^2=19.08$
35歳以上	10.1	35.7	44.2	10.1	15.6	30.0	43.3	11.1	$p<0.001$
全年齢	14.8	16.4	16.9	51.9	29.0	29.5	16.4	25.1	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てが負担である									
20-24歳	5.0	30.0	10.0	55.0	5.0	30.0	25.0	40.0	
25-29歳	8.8	29.8	17.5	43.9	12.3	24.6	28.1	35.1	
30-34歳	10.5	29.1	22.1	38.4	11.6	25.6	25.6	37.2	N.S.
35歳以上	15.0	40.0	30.0	15.0	20.0	30.0	10.0	40.0	
全年齢	9.8	30.6	20.2	39.3	12.0	26.2	24.6	37.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				*N.S.				
人並みに子育てできないと感じる									
20-24歳	0	25.0	30.0	45.0	15.0	20.0	20.0	45.0	
25-29歳	7.0	7.0	31.6	54.4	8.8	24.6	17.5	49.1	
30-34歳	7.0	24.4	29.1	39.5	9.3	20.9	34.9	34.9	N.S.
35歳以上	5.0	5.0	40.0	50.0	0	35.0	25.0	40.0	
全年齢	6.0	16.9	31.1	45.9	8.7	23.5	26.8	41.0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				
子育てが不安でしかたがない									
20-24歳	5.0	20.0	20.0	55.0	5.0	15.0	20.0	60.0	
25-29歳	3.5	15.8	21.1	59.6	7.0	19.3	15.8	57.9	
30-34歳	7.0	16.3	38.4	38.4	1.2	16.3	30.2	52.3	N.S.
35歳以上	5.0	20.0	40.0	35.0	5.0	25.0	25.0	45.0	
全年齢	5.5	16.9	31.1	46.4	3.8	18.0	24.0	54.1	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.				N.S.				

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—

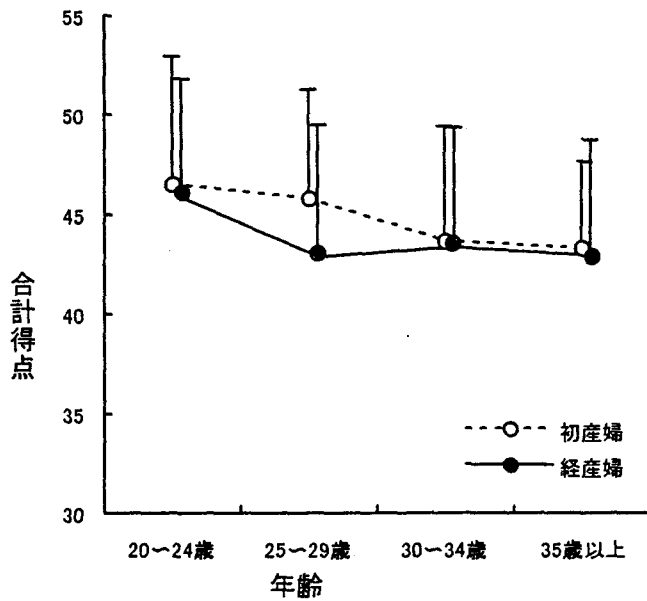


図Ⅱ-16 父親意識（否定的質問項目）への回答「とてもそう」「ややそう」の割合

表Ⅱ-20 父親意識の合計得点の初・経産婦群別年齢群別比較と二元配置分散分析の結果

	初産婦	経産婦
20～24歳	46.5 (6.4)	45.8 (5.7)
25～29歳	45.8 (5.5)	42.8 (6.3)
30～34歳	43.6 (5.7)	43.6 (9.3)
35歳以上	43.3 (4.3)	43.3 (6.0)
全年齢	44.6 (5.7)	43.4 (6.1)
ANOVA		
年齢	F=2.71, df=3,1, p<0.05	
初・経産	N.S.	
交互作用	N.S.	

平均(標準偏差)



図Ⅱ-17 父親意識の合計得点 (平均と標準偏差)

第8節 年齢群別および初・経産別にみた父親の育児

第1項 父親の育児に関する8項目の質問の回答の割合

父親の育児に関する8つの質問項目についての実施者と非実施者の割合を表Ⅱ-21に、また実施者のみの割合を示したのが図Ⅱ-18である。

年齢群別で有意な差が認められたのは、初産婦の夫では「離乳食を与える」($p < 0.05$)であり、年齢が高いほど実施率が高い傾向であった。経産婦の夫では「衣服の着替え」($p < 0.05$)であり、年齢が若いほど実施率が高い傾向であった。その他の項目では年齢群別に有意差は認められなかった。

父親の育児の実施率は、「だっこ」と「遊ぶ」が最も多く、初産婦および経産婦の夫とも90%以上を超えていたが、ついで「風呂」が85%以上、「おむつ交換」と「衣服の着替え」が70%前後、「付き添い」、「ミルク」および「離乳食」が45～60%であった。

なお、初・経産婦間では有意な差は認められなかった。

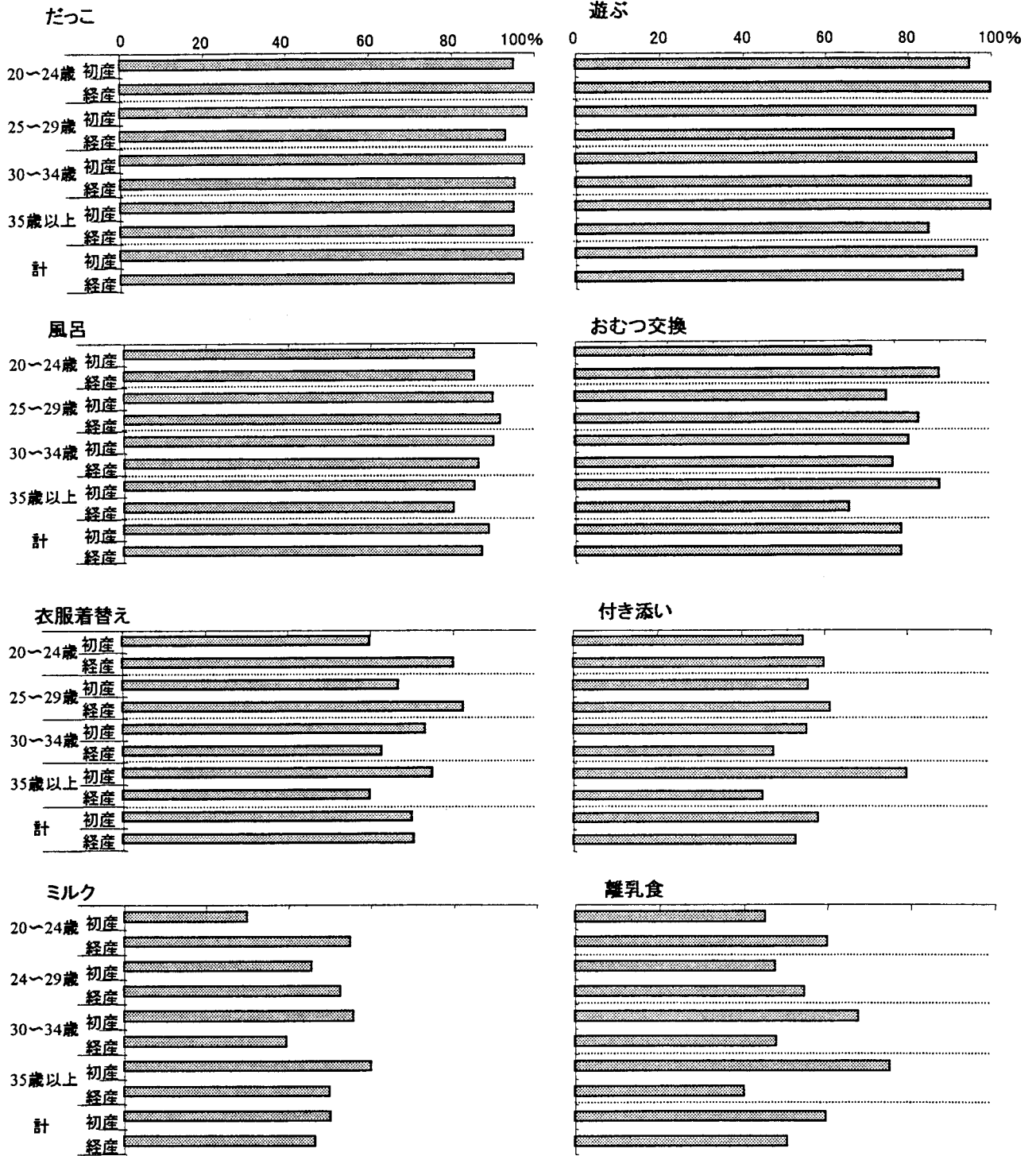
第2項 父親の育児の合計得点の平均と標準偏差

育児に関する8項目の合計得点の平均と標準偏差を表Ⅱ-22と図Ⅱ-19に示した。分散分析の結果、父親の育児の合計得点には、年齢群、初・経産の夫および両者の交互作用にはいずれも有意な効果が認められなかった。

表Ⅱ-21 父親の育児に関する項目への回答(%)

	初産婦		経産婦		初・経産婦間の差 χ^2 検定
	した	しない	した	しない	
だっこ					
20-24歳	95.0	5.0	100.0	0	
25-29歳	98.2	1.8	93.0	7.0	
30-34歳	97.7	2.3	95.3	4.7	N.S.
35歳以上	95.0	5.0	95.0	5.0	
全年齢	97.3	2.7	95.1	4.9	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
遊ぶ					
20-24歳	95.0	5.0	100.0	0	
25-29歳	96.5	3.5	91.2	8.8	
30-34歳	96.5	3.5	95.3	4.7	N.S.
35歳以上	100.0	0	85.0	15.0	
全年齢	96.7	3.3	93.4	6.6	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
風呂					
20-24歳	85.0	15.0	85.0	15.0	
25-29歳	89.5	10.5	91.2	8.8	
30-34歳	89.5	10.5	86.0	14.0	N.S.
35歳以上	85.0	15.0	80.0	20.0	
全年齢	88.5	11.5	86.9	13.1	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
おむつ交換					
20-24歳	65.0	35.0	80.0	20.0	
25-29歳	68.4	31.6	75.4	24.6	
30-34歳	73.3	26.7	69.8	30.2	N.S.
35歳以上	80.0	20.0	60.0	40.0	
全年齢	71.6	28.4	71.6	28.4	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
衣服の着替え					
20-24歳	60.0	40.0	80.0	20.0	
25-29歳	66.7	33.3	82.5	17.5	
30-34歳	73.3	26.7	62.8	37.2	N.S.
35歳以上	75.0	25.0	60.0	40.0	
全年齢	69.9	30.1	70.5	29.5	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		$\chi^2=8.30, p<0.05$		
外出等の付き添い					
20-24歳	55.0	45.0	60.0	40.0	
25-29歳	56.1	43.9	61.4	38.6	
30-34歳	55.8	44.2	47.7	52.3	N.S.
35歳以上	80.0	20.0	45.0	55.0	
全年齢	58.5	41.5	53.0	47.0	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
ミルクを与える					
20-24歳	30.0	70.0	55.0	45.0	
25-29歳	45.6	54.4	52.6	47.4	
30-34歳	55.8	44.2	39.5	60.5	N.S.
35歳以上	60.0	40.0	50.0	50.0	
全年齢	50.3	49.7	46.4	53.6	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
離乳食を与える					
20-24歳	45.0	55.0	60.0	40.0	
25-29歳	47.4	52.6	54.4	45.6	
30-34歳	67.4	32.6	47.7	52.3	N.S.
35歳以上	75.0	25.0	40.0	60.0	
全年齢	59.6	40.4	50.3	49.7	
年齢群間の差 χ^2 検定	$\chi^2=9.48, p<0.05$		N.S.		

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—

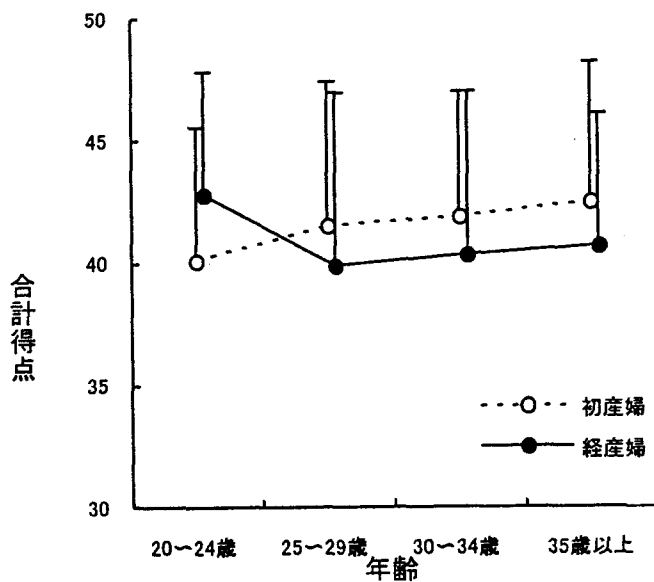


図Ⅱ-18 父親の育児に関する質問項目への回答「した」の割合

表Ⅱ-22 父親の育児の合計得点の初・経産婦群別年齢群別比較と二元配置分散分析の結果

	初産婦	経産婦
20～24歳	40.1 (5.4)	42.8 (5.1)
25～29歳	41.5 (5.9)	39.8 (7.1)
30～34歳	41.9 (5.1)	40.3 (6.7)
35歳以上	42.5 (5.7)	40.7 (5.4)
全年齢	41.6 (5.5)	40.5 (6.5)
ANOVA		
年齢		N.S.
初・経産		N.S.
交互作用		N.S.

平均(標準偏差)



図Ⅱ-19 父親の育児の合計得点 (平均と標準偏差)

第9節 年齢群別および初・経産別にみた父親の家事

第1項 父親の家事に関する4項目の質問の回答の割合

父親の家事に関する4つの質問項目についての回答の割合を、年齢群別および初・経産別に示したのが表Ⅱ-23と図Ⅱ-20である。

年齢群別に有意な差がみられたのは、初産婦では、「料理」($p<0.05$)で、経産婦では「掃除」($p<0.05$)であり、いずれも年齢が高い群ほどその実施者の割合が多く有意な差が認められた。

なお、初・経産婦間では有意な差は認められなかった。

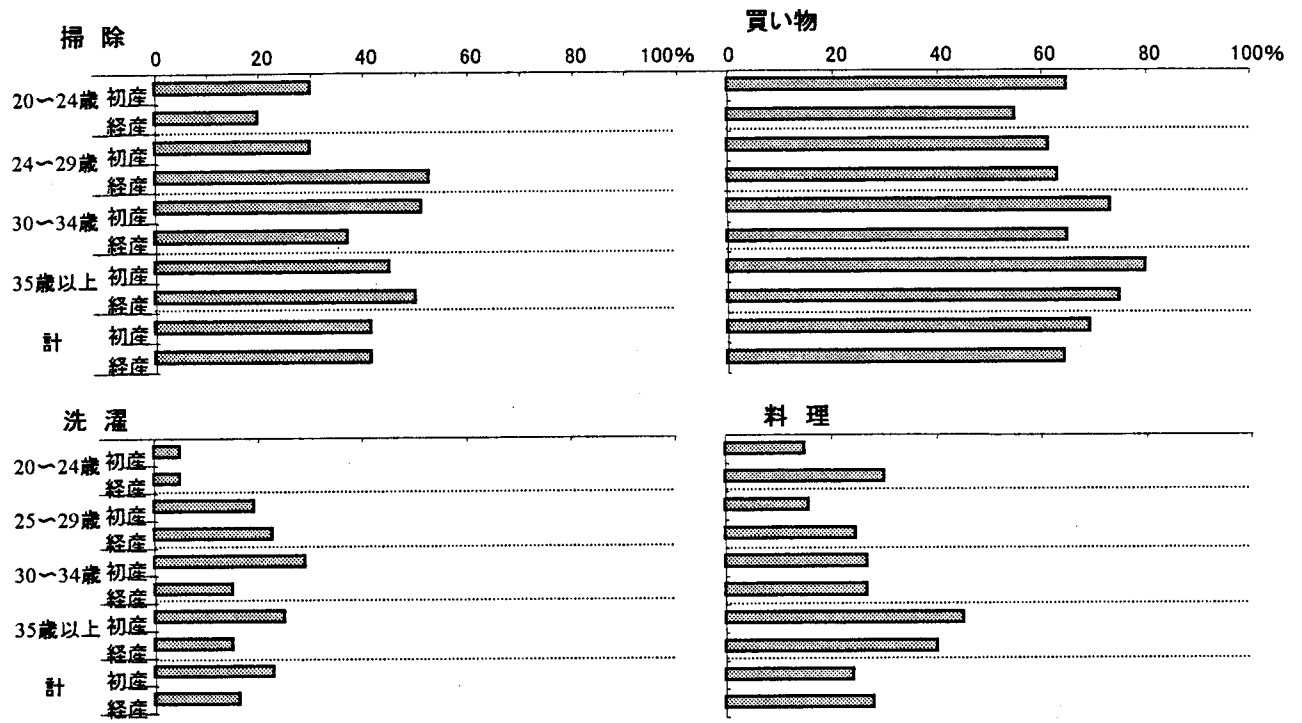
第2項 父親の家事の合計得点の平均と標準偏差

父親の家事に関する4項目の合計得点の平均と標準偏差を表Ⅱ-24と図Ⅱ-21に示した。分散分析の結果、父親の家事の合計得点は年齢のみに有意な効果が認められた($p<0.05$)。父親の家事の合計得点は、20～24歳群と25～29歳群に比して30～34歳群と35歳以上群でやや高値を示す傾向にあった($p<0.05$)。

表II-23 父親の家事に関する項目への回答(%)

	初産婦		経産婦		初・経産婦間の差 χ^2 検定
	した	しない	した	しない	
掃除					
20~24歳	30.0	70.0	20.0	80.0	
25~29歳	29.8	70.2	52.6	47.4	
30~34歳	51.2	48.8	37.2	62.8	N.S.
35歳以上	45.0	55.0	50.0	50.0	
全年齢	41.5	58.5	41.5	58.5	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		$\chi^2=7.96, p<0.05$		
買い物					
20~24歳	65.0	35.0	55.0	45.0	
25~29歳	61.4	38.6	63.2	36.8	
30~34歳	73.3	26.7	65.1	34.9	N.S.
35歳以上	80.0	20.0	75.0	25.0	
全年齢	69.4	30.6	64.5	35.5	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
洗濯					
20~24歳	5.0	95.0	5.0	95.0	
25~29歳	19.3	80.7	22.8	77.2	
30~34歳	29.1	70.9	15.1	84.9	N.S.
35歳以上	25.0	75.0	15.0	85.0	
全年齢	23.0	77.0	16.4	83.6	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
料理					
20~24歳	15.0	85.0	30.0	70.0	
25~29歳	15.8	84.2	24.6	75.4	N.S.
30~34歳	26.7	73.3	26.7	73.3	
35歳以上	45.0	55.0	40.0	60.0	
全年齢	24.0	76.0	27.9	72.1	
年齢群間の差 χ^2 検定	$\chi^2=8.18, p<0.05$		N.S.		

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—

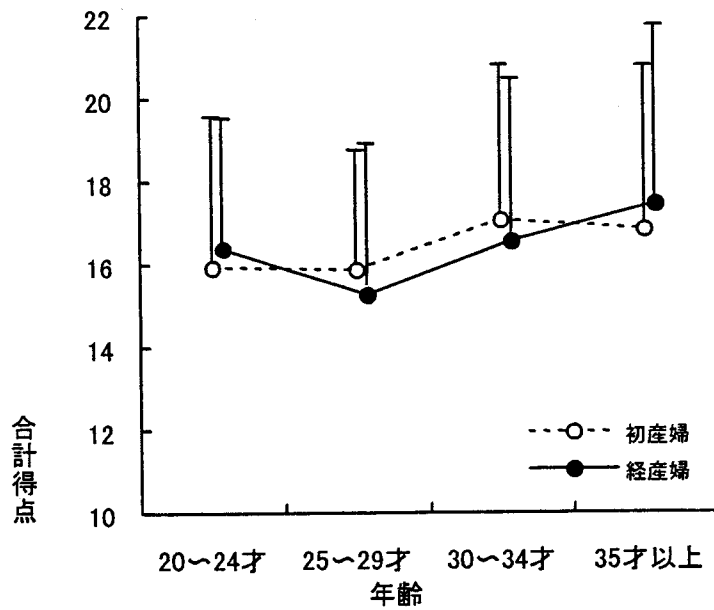


図Ⅱ-20 父親の家事に関する質問項目への回答「した」の割合

表II-24 父親の家事の合計得点の初・経産婦群別年齢群別比較と二元配置分散分析の結果

	初産婦	経産婦
20~24歳	15.9 (3.7)	16.4 (3.2)
25~29歳	15.8 (2.9)	15.2 (3.7)
30~34歳	17.0 (3.8)	16.5 (3.9)
35歳以上	16.8 (3.9)	17.4 (4.3)
全年齢	16.5 (3.5)	16.2 (3.9)
ANOVA		
年齢	F=3.23, df=3,1, p<0.05	
初・経産	N.S.	
交互作用	N.S.	

平均(標準偏差)



図II-21 父親の家事の合計得点 (平均と標準偏差)

第10節 年齢群別および初・経産別にみた妻への精神的支援

第1項 妻への精神的支援に関する6項目の質問の回答の割合

妻への精神的支援に関する6項目における実施者の割合を年齢群別および初・経産婦の夫別に示したのが、表Ⅱ-25と図Ⅱ-22である。

年齢群別および初・経産婦間での有意な差はすべての項目でみられなかった。

妻への精神的支援の初・経産婦全体でその実施率をみると、その割合が最も多いのは、「子育ての大変さを理解する」(79.8%)、次いで「子育てについて話し合う」(67.8%)、「心配事を聞く」(59.3%)、「愛情を示す」(51.9%)、「子育ての相談・助言」(51.6%)の順に減少していた。

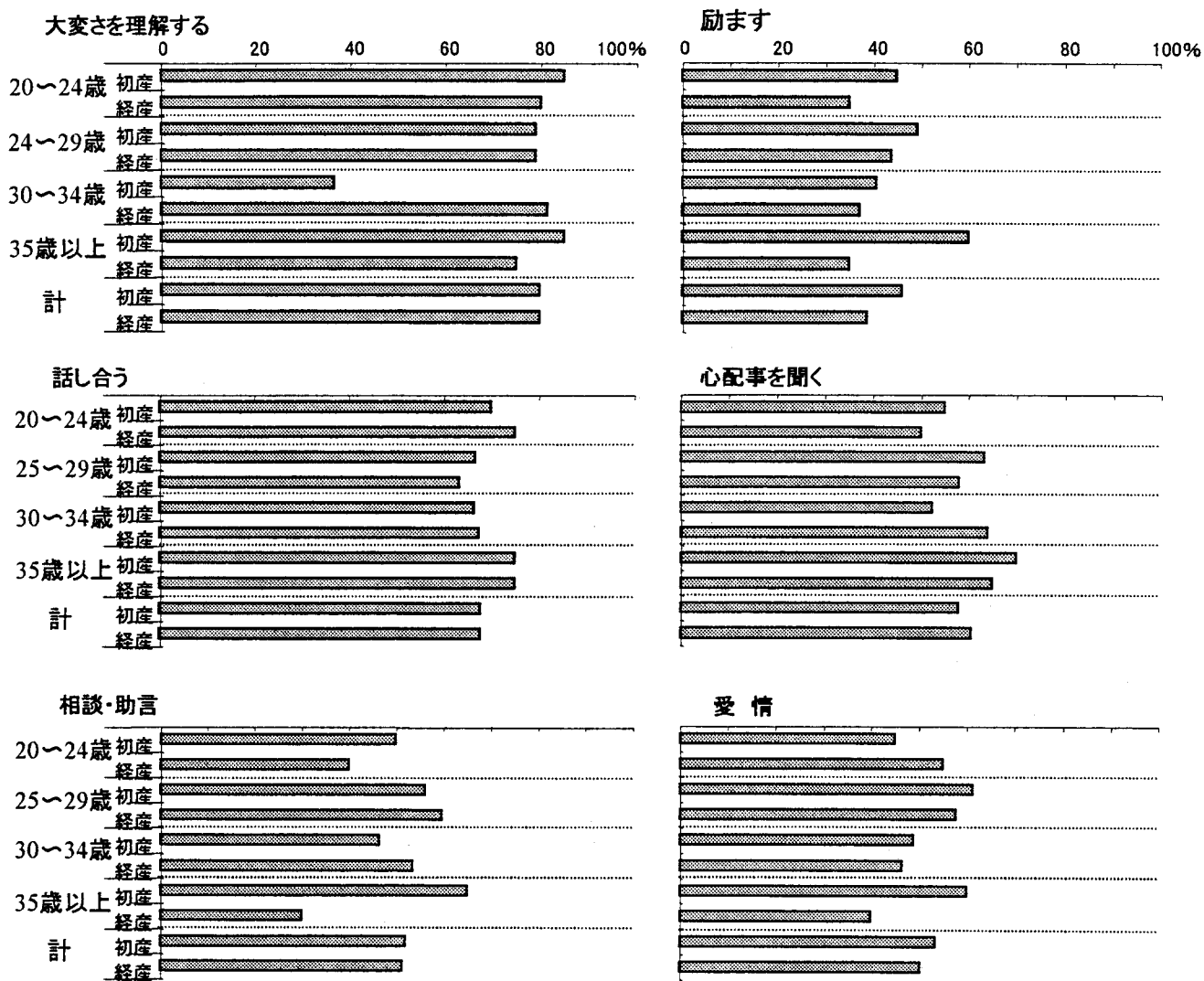
第2項 妻への精神的支援の合計得点と標準偏差

妻への精神的支援に関する6項目の合計得点の平均と標準偏差を表Ⅱ-26と図Ⅱ-23に示した。分散分析の結果、年齢群、初・経産婦の夫および両者の交互作用には、いずれも有意な効果が認められなかった。

表Ⅱ-25 妻への精神的支援に関する項目への回答(%)

	初産婦		経産婦		初・経産婦間の差 χ^2 検定
	した	しない	した	しない	
子育ての大変さを理解					
20～24歳	85.0	15.0	80.0	20.0	
25～29歳	78.9	21.1	78.9	21.1	N.S.
30～34歳	77.9	22.1	81.4	18.6	
35歳以上	85.0	15.0	75.0	25.0	
全年齢	79.8	20.2	79.8	20.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
励ます					
20～24歳	45.0	55.0	35.0	65.0	
25～29歳	49.1	50.9	43.9	56.1	
30～34歳	40.7	59.3	37.2	62.8	N.S.
35歳以上	60.0	40.0	35.0	65.0	
全年齢	45.9	54.1	38.8	61.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
子育てについて話し合う					
20～24歳	70.0	30.0	75.0	25.0	
25～29歳	66.7	33.3	63.2	36.8	
30～34歳	66.3	33.7	67.4	32.6	N.S.
35歳以上	75.0	25.0	75.0	25.0	
全年齢	67.8	32.2	67.8	32.2	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
心配事を聞く					
20～24歳	55.0	45.0	50.0	50.0	
25～29歳	63.2	36.8	57.9	42.1	
30～34歳	52.3	47.7	64.0	36.0	N.S.
35歳以上	70.0	30.0	65.0	35.0	
全年齢	57.9	42.1	60.7	39.3	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
子育ての相談や助言					
20～24歳	50.0	50.0	40.0	60.0	
25～29歳	56.1	43.9	59.6	40.4	N.S.
30～34歳	46.5	53.5	53.5	46.5	
35歳以上	65.0	35.0	30.0	70.0	
全年齢	51.9	48.1	51.4	48.6	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		
愛情を示す					
20～24歳	45.0	55.0	55.0	45.0	
25～29歳	61.4	38.6	57.9	42.1	
30～34歳	48.8	51.2	46.5	53.5	N.S.
35歳以上	60.0	40.0	40.0	60.0	
全年齢	53.6	46.4	50.3	49.7	
年齢群間の差 χ^2 検定	N.S.		N.S.		

第Ⅱ部 母親意識とそれに関連する要因—出産後10か月の調査による分析—

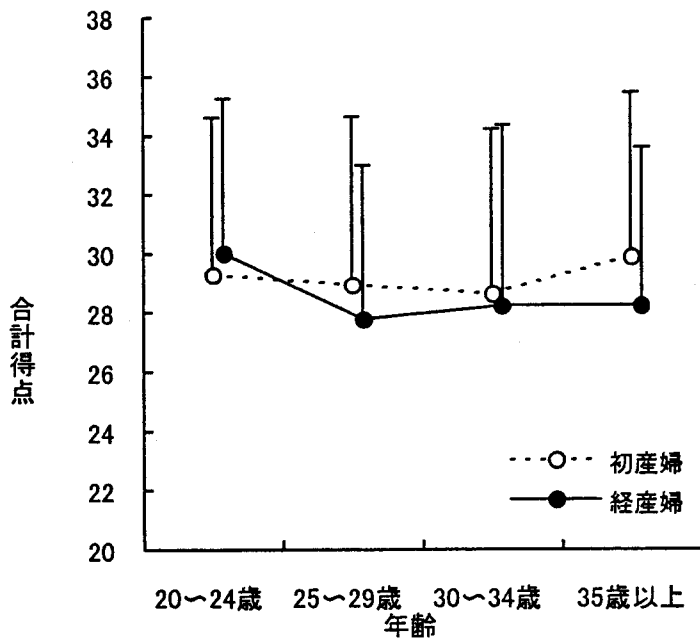


図Ⅱ-22 妻への精神的支援に関する質問項目への回答「した」の割合

表Ⅱ-26 妻への精神的支援に関する合計得点の初・経産婦群別年齢群別比較と二元配置分散分析の結果

	初産婦	経産婦
20～24歳	29.3 (5.3)	30.0 (5.2)
25～29歳	28.9 (5.7)	27.7 (5.2)
30～34歳	28.6 (5.6)	28.2 (6.1)
35歳以上	29.9 (5.6)	28.2 (5.4)
全年齢	28.9 (5.6)	28.3 (5.7)
ANOVA		
年齢		N.S.
初・経産		N.S.
交互作用		N.S.

平均(標準偏差)



図Ⅱ-23 妻への精神的支援の合計得点 (平均と標準偏差)

第11節 母親意識に及ぼす要因

母親意識に及ぼす各種要因を明らかにするために、母親意識の合計得点を目的変数に、母親側の12の要因および父親側の4要因、計16項目を説明変数とした Stepwise procedure による重回帰分析を行って標準偏回帰係数を求めた。これらの標準偏回帰係数を示したのが表Ⅱ-27である。母親意識の合計得点との間で家族構成 ($p<0.05$)、非抑鬱の合計得点 ($p<0.001$)、自己価値観の合計得点 ($p<0.001$)、夫婦関係の合計得点 ($p<0.05$) および父親意識の合計得点 ($p<0.05$) に有意な正の関連性がみられ、また、初・経産 ($p<0.05$)、性別役割分業観の合計得点 ($p<0.05$) とは負の関連性が認められた。すなわち、核家族よりも3世代家族に、経産婦より初産婦に母親意識が高い傾向であり、母親意識の高いものは、抑鬱が低いこと、肯定的な自己価値観であること、夫婦関係の親密度が高いこと、性別役割分業観が伝統的な傾向であることおよび父親意識が高いことを示唆していた ($R^2=0.427$)。

その他、就労の有無、母親および父親の年齢、里帰りの有無、出産時の満足感、児の出生順位、また、父親の育児、父親の家事や精神的支援と母親意識の合計得点とは有意な関連性がみられなかった。

また、父親意識についても、同様に15の要因を説明変数とした Stepwise procedure による重回帰分析を行って標準偏回帰係数を求めた。父親意識の合計得点とは父親の育児の合計得点 ($p<0.001$)、および母親意識の合計得点 ($p<0.05$) との正の関連性が認められた。しかし、重相関係数2乗の数値が少ないため ($R^2=0.093$)、関連性は説明できないと思われる。

表Ⅱ-27 母親意識の合計得点によるステップワイズ法に伴う
重回帰分析の結果($R^2=0.427$)

	説明変数	標準偏回帰係数	有意水準
母 親 側 要 因	就労の有無	-0.025	N.S.
	母親の年齢	-0.085	N.S.
	家族構成	0.103	p<0.05
	初・経産	-0.128	p<0.01
	里帰りの有無	-0.024	N.S.
	出産時満足感	0.024	N.S.
	児出生順位	0.023	N.S.
	非抑鬱合計得点	0.463	p<0.001
	自己価値観合計得点	0.237	p<0.001
	夫婦関係合計得点	0.101	p<0.05
	性別役割分業観合計得点	-0.100	p<0.05
	父 親 側 要 因	父親意識合計得点	0.093
父親の育児合計得点		-0.070	N.S.
父親の家事合計得点		-0.025	N.S.
妻への精神的支援合計得点		-0.116	N.S.
父親の年齢		0.067	N.S.